

第4部 保護者向け調査結果

1 調査概要

(1) 目的

本調査は、「教育推進プラン・江東」の次期計画策定にあたり、小中学生の保護者を対象に、江東区の教育について、教育に関するニーズや課題等を抽出し、計画の基礎資料として活用するものです。

(2) 対象

江東区立小中学校に在籍する児童(小学4～6年生)・生徒(中学1～3年生)の保護者…3,000名

(3) 実施方法

本人の入力によるWEB回答方式。

(4) 実施時期

2024年10月16日～11月11日

※調査依頼状に記載した回答締切は

10月31日でしたが、衆議院議員選挙

と重なるなどで回答者への到着が遅く

なったため、回収日を11月11日に

延期しました。

(5) 回収結果

保護者

配布数…3,000名

回収数…468名

回収率…15.6%

保護者様

こどもの教育に関するアンケートへのご協力をお願い

日頃より江東区の教育行政にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。
さて、江東区では、こどもたちが夢に向かってのびのびと育ち、未来を担う人となることを目指し、教育振興基本計画である「教育推進プラン・江東」を策定して様々な取組を行っています。この計画の策定にあたっては、区民の皆さまやこども達、保護者の方にもご意見をいただきながら、時代の流れや多様化するニーズに合わせ見直すこととしております。

つきましては、この度、江東区における教育について、区民の皆様のご意見をお伺いさせていただきたく、アンケート調査を実施いたします。

皆様の貴重なご意見は、令和8年度からを計画期間とする「(仮称)教育推進プラン・江東(第3期)」の策定に活用させていただきたいと考えております。
何卒趣意をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、今回、保護者様とお子様にご協力をお願いしております。封筒の宛名にあるお子様についてお答えいただきたくお願いいたします。また、お子様自身が答えていただくアンケートについては、お子様ができる限り自由に回答できるように見守ってくださいよう。また、難しい言葉などについて、お子様から質問があった場合は、必要に応じてサポートをしていただきたく、あわせてお願い申し上げます。

令和6年10月 江東区教育委員会

※本調査は江東区から株式会社ブランド総合研究所に委託し実施するものです
※本調査は無記名式で、名前や住所など個人を特定する情報を記入する箇所はありません

- 1 回答方法 [WEB] 右のQRコードを読み取るか、以下のURLから調査画面にアクセスしてスマートフォンやパソコンなどでご回答ください
調査URL: <https://00m.in/HjyNu>

調査回答ページ

2 回収締切 令和6年10月31日(木)

【調査実施主体】

江東区教育委員会事務局
庶務課教育政策調整係
〒135-8383 東京都江東区東陽 4-11-28
TEL: 03-3647-8642 FAX: 03-5690-6911

【調査業務委託事業者】

(株) ブランド総合研究所
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-1-20
TEL: 03-3539-3011

右のマークは目の不自由な方
のための音声コードです

調査依頼文

2 集計結果

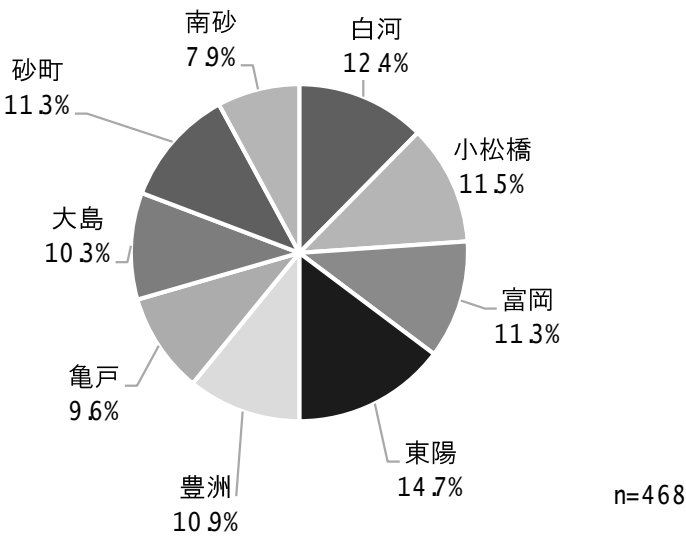
※問28、問41を除いて全問回答必須

問1 あなたがお住まいの地区をお選びください。（ひとつだけ）

「東陽」が14.7%と最も高く、次いで「白河」が12.4%、「小松橋」が11.5%と続いています。

	N	%
サンプル数	468	100%
白河	58	12.4%
小松橋	54	11.5%
富岡	53	11.3%
東陽	69	14.7%
豊洲	51	10.9%
亀戸	45	9.6%
大島	48	10.3%
砂町	53	11.3%
南砂	37	7.9%
その他	0	0.0%

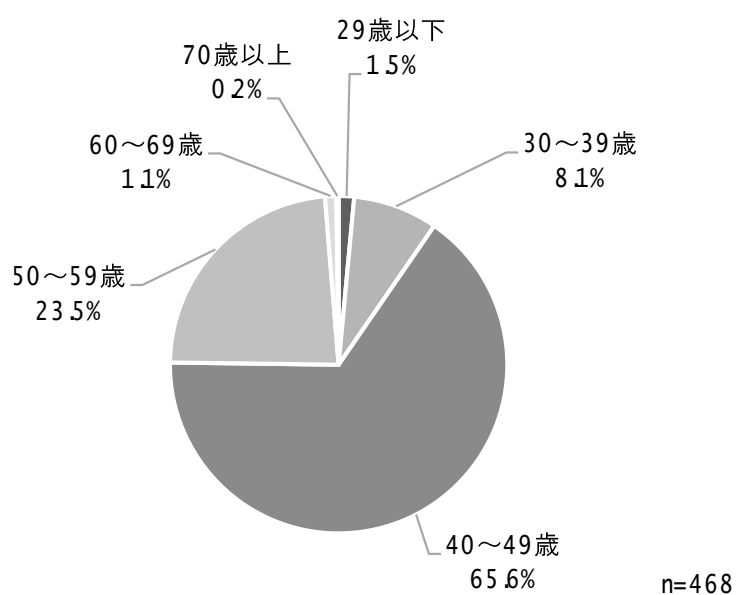
Nは回答者数を示しています。
%は回答者数に対して、各項目の回答数の割合を、小数点第2位を四捨五入して示しています。
（以下同）



問2 あなたの年齢をお選びください。（ひとつだけ）

「40～49歳」が65.6%と最も高く、次いで「50～59歳」が23.5%、「30～39歳」が8.1%と続いています。

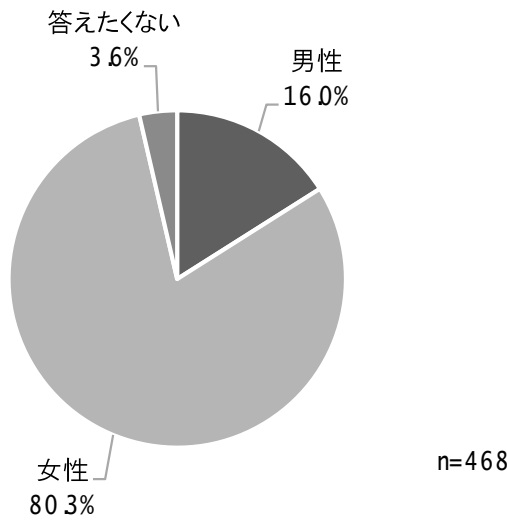
	N	%
サンプル数	468	100%
29歳以下	7	1.5%
30～39歳	38	8.1%
40～49歳	307	65.6%
50～59歳	110	23.5%
60～69歳	5	1.1%
70歳以上	1	0.2%



問3 あなたの性別をお選びください。（ひとつだけ）

「女性」が80.3%で、「男性」は16.0%でした。

	N	%
サンプル数	468	100%
男性	75	16.0%
女性	376	80.3%
答えたくない	17	3.6%

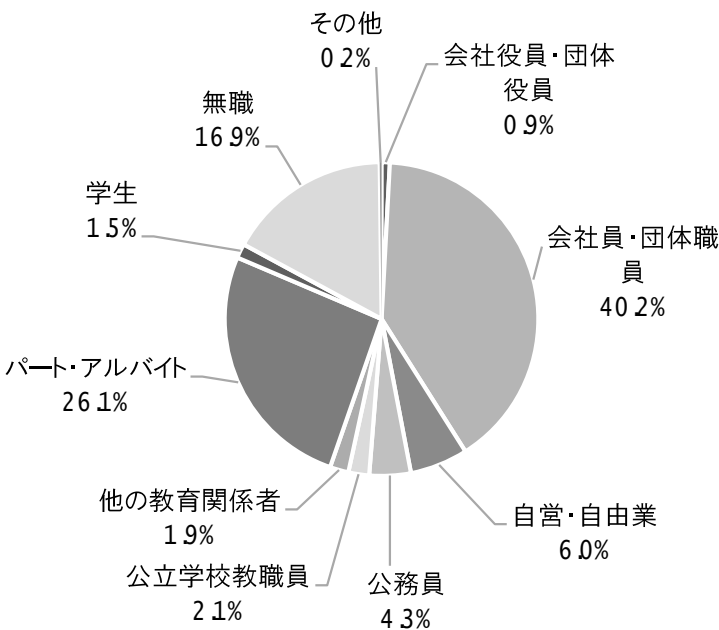


問4 あなたの職業をお選びください。（ひとつだけ）

「会社員・団体職員」が40.2%が最も高く、次いで「パート・アルバイト」が26.1%、「無職」が16.9%と続いています。

	N	%
サンプル数	468	100%
会社役員・団体役員	4	0.9%
会社員・団体職員	188	40.2%
自営・自由業	28	6.0%
公務員	20	4.3%
公立学校教職員	10	2.1%
それ以外の教育関係者	9	1.9%
パート・アルバイト	122	26.1%
学生	7	1.5%
無職（専業主婦・主夫含む）	79	16.9%
その他	1	0.2%

「その他」の具体的な内容
派遣社員

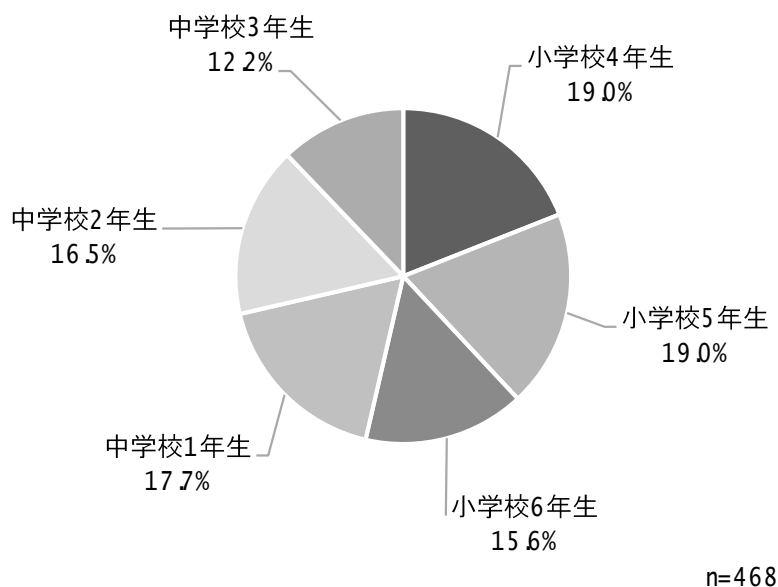


n=468

問5 お子さんの学年をお選びください。（今回、調査にお答えいただくお子さまについてお選びください）（ひとつだけ）

「小学校4年生」・「小学校5年生」がともに19.0%と最も高く、次いで「中学校1年生（義務教育学校7年生）」が17.7%で、「中学校2年生（義務教育学校8年生）」が16.5%と続いています。

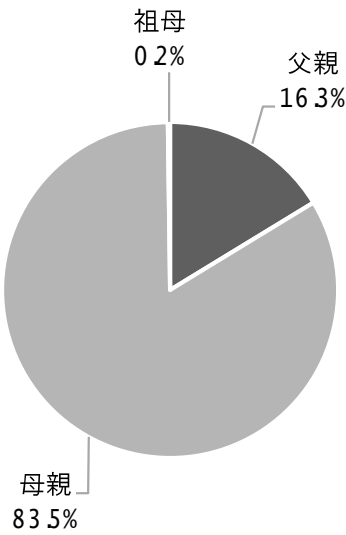
	N	%
サンプル数	468	100%
小学校4年生	89	19.0%
小学校5年生	89	19.0%
小学校6年生	73	15.6%
中学校1年生（義務教育学校7年生）	83	17.7%
中学校2年生（義務教育学校8年生）	77	16.5%
中学校3年生（義務教育学校9年生）	57	12.2%



問6 あなたはお子さんにとってどのような続柄ですか。（ひとつだけ）

「母親」が83.3%と最も高く、次いで「父親」が16.2%と続いています。

	N	%
サンプル数	468	100%
父親	76	16.2%
母親	390	83.3%
祖母	1	0.2%
祖父	0	0.0%
おじ	0	0.0%
おば	0	0.0%
その他	1	0.2%



n=468

問7 同居している家族について、あてはまるものをすべてお選びください。
（あなたにとっての続柄でお答えください）（いくつでも）

「子」が95.1%と最も高く、次いで「配偶者」が90.0%、「兄弟姉妹」が6.6%と続いています。

	N	%
サンプル数	468	100%
配偶者	421	90.0%
子	445	95.1%
兄弟姉妹	31	6.6%
父母、義父母	23	4.9%
祖父母、義祖父母	3	0.6%
孫、ひ孫	1	0.2%
その他	2	0.4%

「その他」の具体的な内容
家族、義叔母

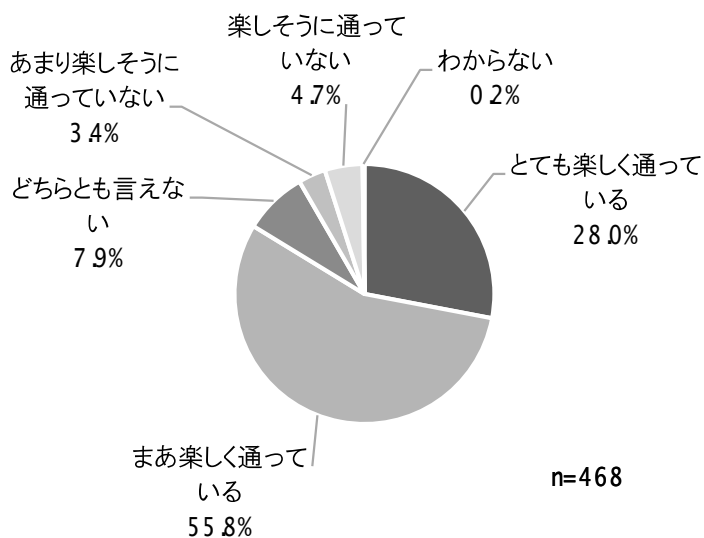
問8 あなたのお子さんは、楽しく学校に通っていますか。（ひとつだけ）

「まあ楽しく通っている」が55.8%と最も高く、次いで「とても楽しく通っている」が28.0%で、83.8%が楽しく通っています。

一方で、「あまり楽しそうに通っていない」が3.4%、「楽しそうに通っていない」が4.7%と、8.1%が楽しそうに通っていません。

小学4年生から中学3年生までの「とても楽しく通っている」と「まあ楽しく通っている」を合算すると、小学4年生は84.3%、小学5年生は76.4%、小学6年生は90.4%、中学1年生は91.6%、中学2年生は84.4%、中学3年生は73.7%です。

	N	%
サンプル数	468	100%
とても楽しく通っている	131	28.0%
まあ楽しく通っている	261	55.8%
どちらとも言えない	37	7.9%
あまり楽しそうに通っていない	16	3.4%
楽しそうに通っていない	22	4.7%
わからない、気にしたことがない	1	0.2%



問9 お子さんが学校が楽しい理由は何だと思いますか。（いくつでも）

※問8で学校に「とても楽しく通っている」「まあ楽しく通っている」と回答した方のみに質問

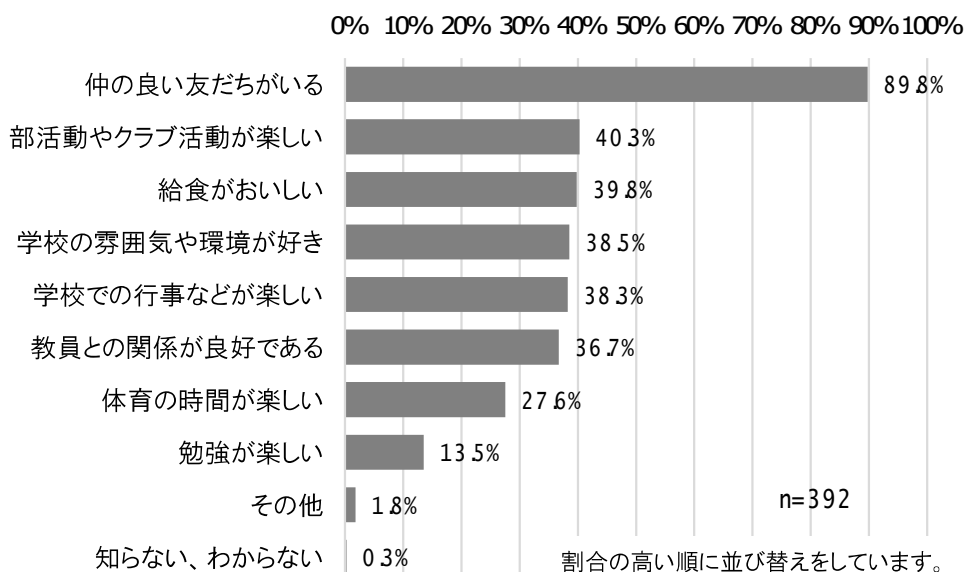
楽しく通っている392名のうち、学校が楽しい理由として「仲の良い友だちがいる」が89.8%と最も高く、次いで「部活動やクラブ活動が楽しい」が40.3%と続いています。

父親・母親ともに「仲の良い友だちがいる」（父親は93.3%、母親は89.1%）が最も高く、次いで父親は「学校の雰囲気や環境が好き」が43.3%、母親は「部活動やクラブ活動が楽しい」が42.3%と続いています。

	N	%
サンプル数	392	100%
学校の雰囲気や環境が好き	151	38.5%
教員との関係が良好である	144	36.7%
仲の良い友だちがいる	352	89.8%
勉強が楽しい	53	13.5%
体育の時間が楽しい	108	27.6%
部活動やクラブ活動が楽しい	158	40.3%
学校での行事などが楽しい	150	38.3%
給食がおいしい	156	39.8%
その他	7	1.8%
知らない、わからない	1	0.3%

「その他」の具体的な内容

自分の役割がある、Chrom ebook、勉強は少しだけ楽しい、図書館が好き、数矢バスケが楽しい、好きな授業があるとき



問10 楽しそうではない理由は何だと思いますか。（いくつでも）

※問8で学校に「あまり楽しそうに通っていない」「楽しそうに通っていない」と回答したのみに質問

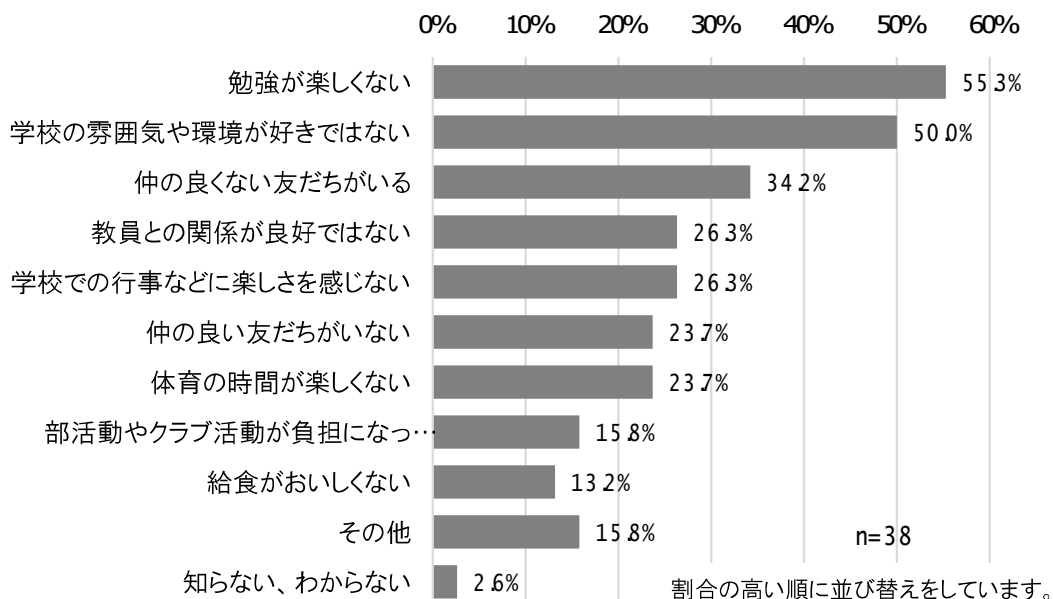
楽しそうに通っていない38名のうち、「勉強が楽しくない」が55.3%と最も高く、次いで「学校の雰囲気や環境が好きではない」が50.0%と続いています。

父親は「仲の良くない友だちがいる」と「勉強が楽しくない」（それぞれ57.1%）が最も高く、母親は「学校の雰囲気や環境が好きではない」（58.1%）が最も高いです。

	N	%
サンプル数	38	100%
学校の雰囲気や環境が好きではない	19	50.0%
教員との関係が良好ではない	10	26.3%
仲の良い友だちがいない	9	23.7%
仲の良くない友だちがいる	13	34.2%
勉強が楽しくない	21	55.3%
体育の時間が楽しくない	9	23.7%
部活動やクラブ活動が負担になっている	6	15.8%
学校での行事などに楽しさを感じない	10	26.3%
給食がおいしくない	5	13.2%
その他	6	15.8%
知らない、わからない	1	2.6%

「その他」の具体的な内容

本人が自閉症で大集団が元々苦手で、それに対する学校の配慮がまるでないから、転入前の学校と児童数や雰囲気が変わってしまひとつなじみきれない、学校の進め方とこどものペースが合わない、給食をみんなの前で食べられない、無駄に長い校長の話、重い荷物、圧のある教員、理由を教えてくれないルール、一律に学ぶ授業形態があていない



問11 あなたのお子さんは、学校の授業以外で運動やスポーツをしていますか。（いくつでも）

「なにもしていない」が35.7%と最も高く、次いで「民間スポーツクラブや道場等に通っている」が35.0%、「学校の部活動に参加している」が19.9%と続いています。

小学4年生・5年生では「民間のスポーツクラブや道場等に通っている」（小学4年生は61.8%、小学5年生は48.3%）が最も高く、小学6年生は「なにもしていない」（45.2%）が最も高いです。

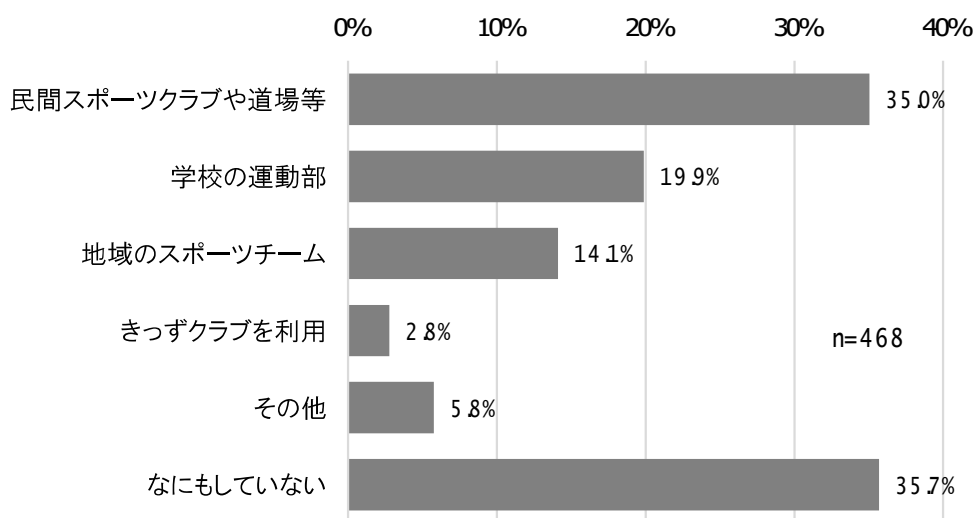
中学1年生・2年生はともに「学校の運動部に参加している」（中学1年生は44.6%、中学2年生は45.5%）が最も高く、中学3年生は「なにもしていない」が63.2%と最も高くなりました。

また、「地域のスポーツチームに参加している」では、小学4年生は22.5%、小学5年生は20.2%、小学6年生は26.0%、中学1年生は7.2%、中学2年生は1.3%、中学3年生は3.5%でした。

	N	%
サンプル数	468	100%
民間スポーツクラブや道場等に通っている	164	35.0%
地域のスポーツチームに参加している	66	14.1%
学校の運動部に参加している	93	19.9%
きッズクラブを利用して運動している	13	2.8%
その他	27	5.8%
なにもしていない	167	35.7%
知らない、わからない	0	0.0%

「その他」の具体的な内容

バレエ(2)、放課後デイサービス、簡易ジム、家でなわとび、公園や広場で運動(3)、江東区の部活、ダンス(2)、友達と外で遊ぶ(2)、引退した、スイミング(2)、体操教室、ジョギング・ランニング(2)、サッカークラブ、運動療育 など



割合の高い順に並び替えをしています。
グラフの表記を一部省略しています。

問12 お子さんが学校の運動行事で特に興味を持っていることは何ですか。（いくつでも）

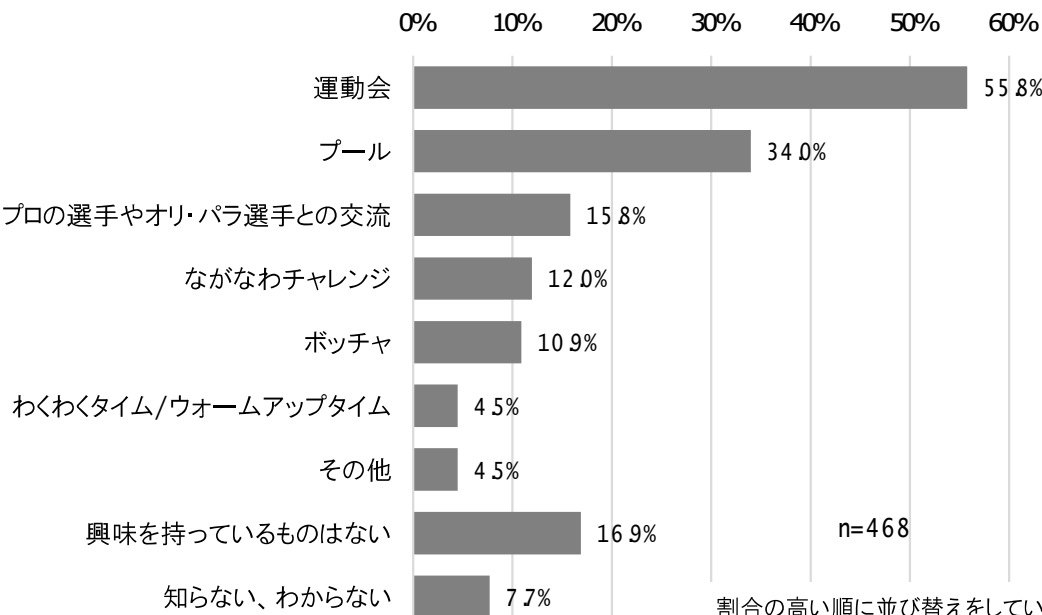
「運動会」が55.8%と最も高く、次いで「プール」が34.0%、「プロ選手やオリンピック・パラリンピック選手との交流」が15.8%と続いています。

小学4年生から中学3年生まで「運動会」が最も高く、次いで小学4年生は「プール」(55.1%)、小学5年生は「プール」(43.8%)、小学6年生は「プール」(28.8%)、中学1年生は「プール」(28.9%)、中学2年生は「興味を持っているものはない」(26.0%)、中学3年生は「興味を持っているものはない」(21.1%)が続いています。

	N	%
サンプル数	468	100%
運動会	261	55.8%
ながなわチャレンジ	56	12.0%
ボッチャ	51	10.9%
プール	159	34.0%
わくわくタイム/ウォームアップタイム	21	4.5%
プロの選手やオリンピック・パラリンピック選手との交流	74	15.8%
その他	21	4.5%
興味を持っているものはない	79	16.9%
知らない、わからない	36	7.7%

「その他」の具体的な内容

連合音楽会、行事は苦手で参加できない、カバディー、音楽会・遠足、跳び箱、校外活動、バスケ、合唱コンクール、部活(2)、ドッジボール(3)、休み時間の鬼ごっこ、連合運動会、マラソン大会、遠足、ナイトフォーク、運動会の演奏 など



割合の高い順に並び替えています。
グラフの表記を一部省略しています。

問13 お子さんは、放課後どのようにして過ごすことが多いですか。（いくつでも）

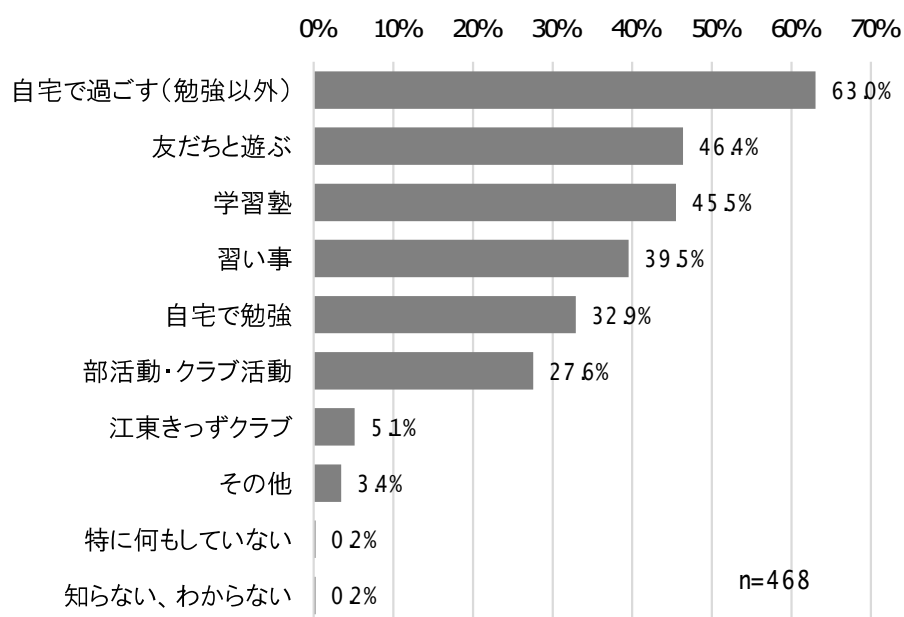
「自宅で過ごす（勉強以外）」が63.0%と最も高く、次いで「友だちと遊ぶ」が46.4%、「学習塾」が45.5%と続いています。

地区別で最も高いものとして、白河は「学習塾」（50.0%）ですが、それ以外の地区では「自宅で過ごす（勉強以外）」が最も高いです。

	N	%
サンプル数	468	100%
自宅で過ごす（勉強以外）	295	63.0%
自宅で勉強	154	32.9%
学習塾	213	45.5%
習い事	185	39.5%
江東きッズクラブ	24	5.1%
部活動・クラブ活動	129	27.6%
友だちと遊ぶ	217	46.4%
その他	16	3.4%
特に何もしていない	1	0.2%
知らない、わからない	1	0.2%

「その他」の具体的な内容

委員会活動等、放課後デイサービス、児童館（3）、兄妹と遊ぶ、自宅学習、祖父母の家で過ごす（3）、ダンス教室 預かり保育、図書館で宿題（2）、学童（2）



割合の高い順に並び替えをしています。

問14 お子さんは「Challenge Wednesday」はどのように過ごしていますか。（いくつでも）

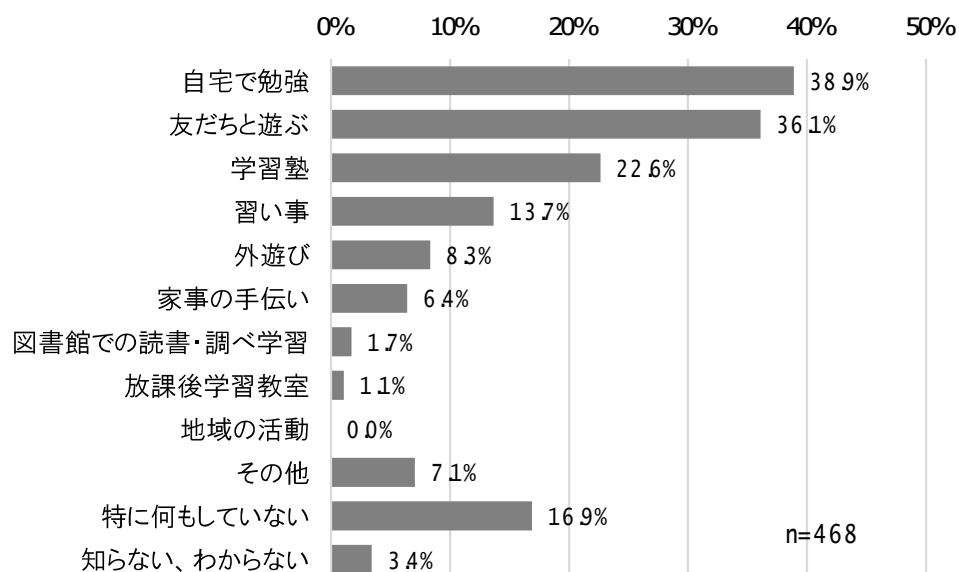
「自宅で勉強」が38.9%と最も高く、次いで「友だちと遊ぶ」が36.1%、「学習塾」が22.6%と続いています。

地区別では、白河(37.9%)・小松橋(40.7%)は「友だちと遊ぶ」が、富岡(49.1%)・豊洲(41.2%)・亀戸(35.6%)・南砂(43.2%)は「自宅で勉強」が最も高いです。東陽・大島・砂町はいずれも、「自宅で勉強」と「友だちと遊ぶ」が同率で最も高いです。

	N	%
サンプル数	468	100%
自宅で勉強	182	38.9%
学習塾	106	22.6%
習い事	64	13.7%
放課後学習教室	5	1.1%
図書館での読書・調べ学習	8	1.7%
地域の活動	0	0.0%
家事の手伝い	30	6.4%
友だちと遊ぶ	169	36.1%
外遊び	39	8.3%
その他	33	7.1%
特に何もしていない	79	16.9%
知らない、わからない	16	3.4%

「その他」の具体的な内容

児童館で遊ぶ(2)、自宅で遊ぶ、体力づくり、能動的に取り組んでいる様子はない、料理、病院(2)、自宅で休息(3)、ゲーム(4)、パソコン、ハンドメイド(2)、自主学習、野球、絵を描く(2)、友達と勉強、地域清掃、宿題(2)、読書、サイクリング、調べものをまとめるなど



割合の高い順に並び替えをしています。

問15 お子さんはスマートフォンを持っていますか。（ひとつだけ）

スマートフォンを「持っている」と回答したのは63.5%で、「持っていない」と回答したのは36.5%でした。

「持っている」について保護者の年齢別では、「29歳以下」は42.9%、「30～39歳」は55.3%、

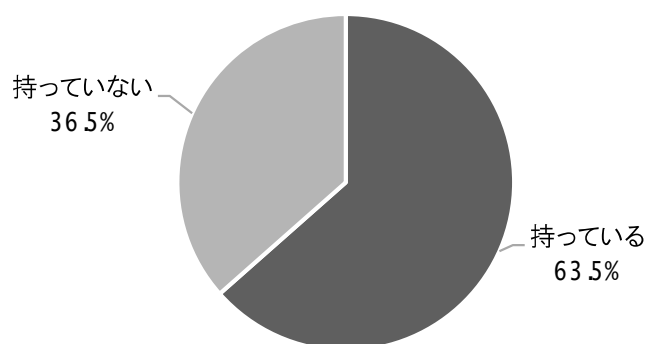
「40～49歳」は60.3%、「50～59歳」は76.4%、「60～69歳」では80.0%でした。

学年別で「持っている」の割合は、小学4年生が28.1%、小学5年生が36.0%、小学6年生が56.2%に対して、

中学1年生は91.6%、中学2年生は92.2%、中学3年生は91.2%と、小学6年生から中学1年生にかけて

「持っている」の回答がおよそ35%増加しています。

	N	%
サンプル数	468	100%
持っている	297	63.5%
持っていない	171	36.5%



n=468

問16 スマートフォンを持たせているのはどのような理由からですか。（いくつでも）

※問15でスマートフォンを「持っている」と回答したのみに質問

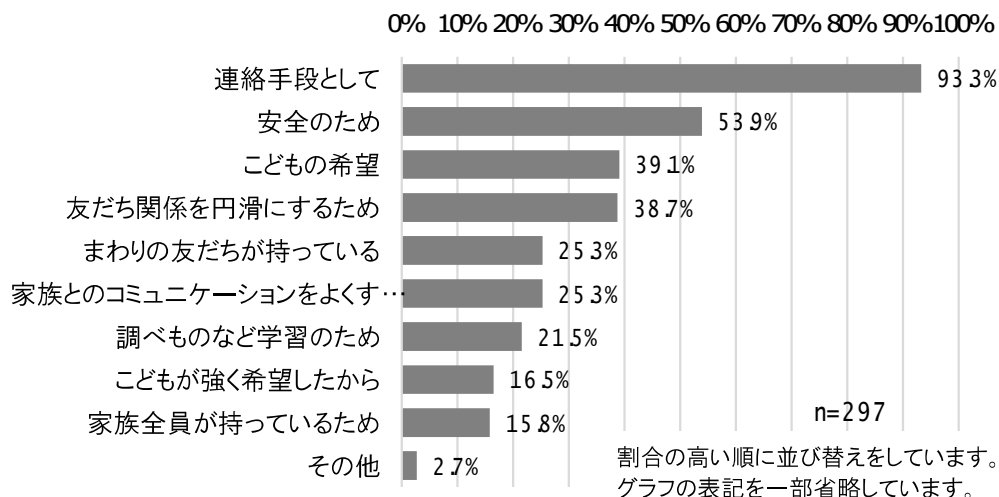
スマートフォンを持っていると回答した297名のうち、持たせている理由は「連絡手段として」が93.3%と最も高く、次いで「安全のため」が53.9%、「こどもの希望」が39.1%と続いています。

学年別では「連絡手段として」が各学年で最も高く、次いで小学4～6年生は「安全のため」が続いていますが、中学生では「安全のため」のほかに「こどもの希望」や「友だち関係を円滑にするため」が続いています。「友だち関係を円滑にするため」は、小学4年生が8.0%、小学5年生が15.6%、小学6年生が14.6%に対して、中学1年生は52.6%、中学2年生は53.5%、中学3年生は46.2%でした。

	N	%
サンプル数	297	100%
連絡手段として	277	93.3%
安全のため	160	53.9%
調べものなど学習のため	64	21.5%
こどもの希望	116	39.1%
友だち関係を円滑にするため	115	38.7%
まわりの友だちが持っている	75	25.3%
家族とのコミュニケーションをよくするため	75	25.3%
家族全員が持っているため	47	15.8%
こどもが強く希望したから	49	16.5%
その他	8	2.7%
特に理由はない	0	0.0%

「その他」の具体的な内容

Ⅱ関連にとっても関心があり、興味関心を持った事柄について深く調べたいために手軽に調べたりできるから。
ニュース、デジタルペイントが上手なのでお絵かき用。
公共の交通手段を利用するのに必要だから。
移動経路を調べたら誘導してもらうのに必要だから。
生徒同士での部活関係の連絡は主にLINEで来ます。
部活の連絡ツールとしてスムーズだから。
ゲーム機がわりとして、コロナ中に使うことが習慣づいてしまった など



問17 お子さんのスマートフォンの利用について、制限などの設定をしていますか。 (いくつでも)

※問15でスマートフォンを「持っている」と回答したのみに質問

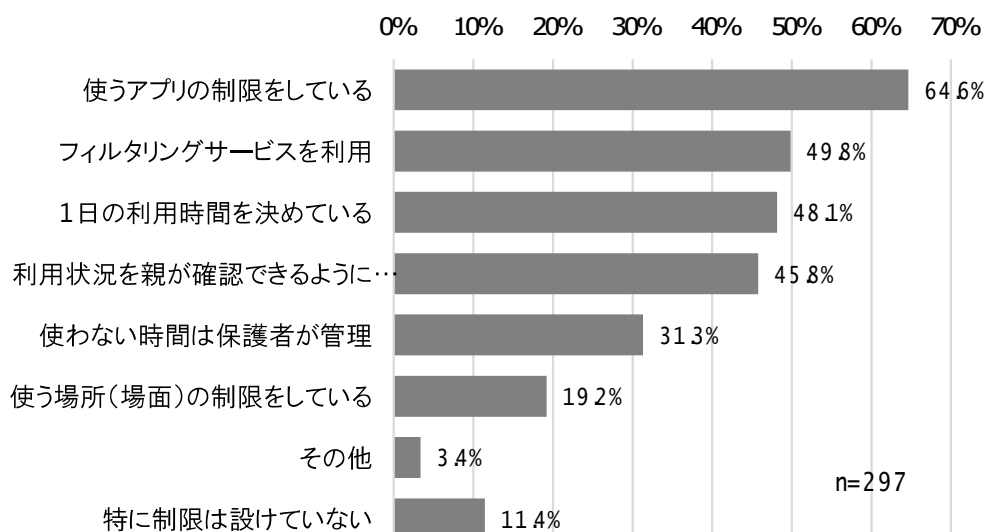
スマートフォンを持っていると回答した297名のうち、制限の設定などについて「使うアプリの制限をしている」が64.6%と最も高く、次いで「携帯電話会社のフィルタリングサービスを利用している」が49.8%と続いています。

「特に制限は設けていない」では、小学4年生が4.0%、小学5年生が6.3%、小学6年生が7.3%に対して、中学1年生は7.9%、中学2年生は12.7%、中学3年生は25.0%と学年が上がるごとに制限を設けていない割合が増加しています。

	N	%
サンプル数	297	100%
1日の利用時間を決めている	143	48.1%
使うアプリの制限をしている	192	64.6%
使う場所(場面)の制限をしている	57	19.2%
夜など使わない時間は保護者が管理している	93	31.3%
携帯電話会社のフィルタリングサービスを利用している	148	49.8%
利用状況などを親が確認できるように設定している	136	45.8%
その他	10	3.4%
特に制限は設けていない	34	11.4%

「その他」の具体的な内容

約束するが破られる、自宅Wi-Fi以外の通信を遅くして動画等見れないように通信できないようにしている、学習目的を除き21時までの利用、利用時間を制限するようにしている、決め事守らないので困ってる、キッズケータイなのでそもそもできることが少ない、連絡以外に自ら使うことはないです、使用に関する約束を守れない場合、親による一時的回収、ゲーム禁止にしているが隙を見て勝手にダウンロードしている、スマホ自体で利用制限をしている など



割合の高い順に並び替えをしています。
グラフの表記を一部省略しています。

問18 お子さんは学校から提供されたタブレット端末を、学校以外（家を含む）でどのようなことに使っていますか。（いくつでも）

「調べもの」が65.4%と最も高く、次いで「課題（ドリルなど）」が58.5%、「学校や友だちとの連絡」が22.6%と続いています。

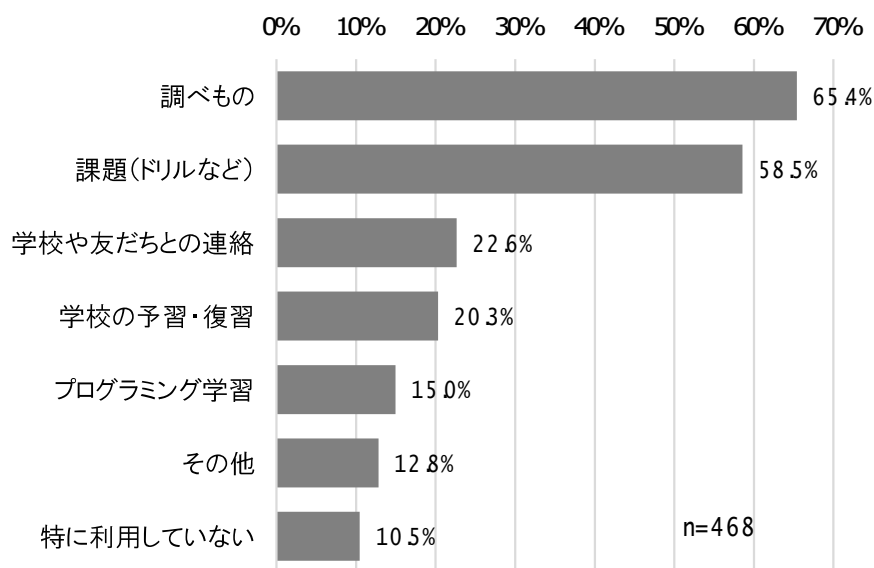
学年別では、小学4、5、6年生、中学2年生では「調べもの」が最も高く、中学1年生は「課題（ドリルなど）」が、中学3年生は「課題（ドリルなど）」と「調べもの」が同率で最も高いです。

プログラミング学習について、小学4年生は19.1%、小学5年生は24.7%、小学6年生は20.5%と小学生はおよそ20%ですが、一方中学生は中学1年生が9.6%、中学2年生が6.5%、中学3年生が5.3%と10%未満になっています。

	N	%
サンプル数	468	100%
課題（ドリルなど）	274	58.5%
学校の予習・復習	95	20.3%
調べもの	306	65.4%
プログラミング学習	70	15.0%
学校や友だちとの連絡	106	22.6%
その他	60	12.8%
特に利用していない	49	10.5%

「その他」の具体的な内容

委員会活動、絵を描く(5)、プログラミング、タイピング(28)、電子図書(3)、ウェブサイト作成、ゲーム(24)、連絡(2)、YouTube(3)、Web検索・ネットサーフィン(3)、運動会やダンス学習の動画・練習風景を見せて実演してくれる、野球を観ている、NHK for School 時間割の確認 など



割合の高い順に並び替えをしています。

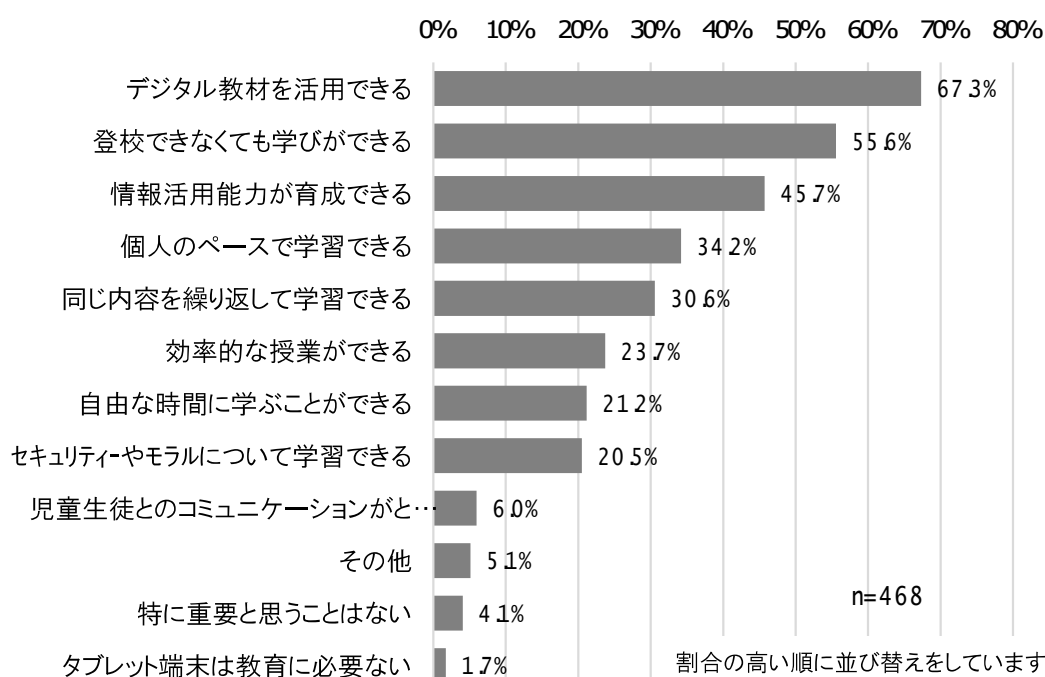
問19 タブレット端末を活用した教育で重要と思うことは何ですか。（いくつでも）

「写真や映像、イラストなどのデジタル教材を活用できる」が67.3%と最も高く、次いで「登校できなくても学びの機会が確保できる」が55.6%と続いています。

	N	%
サンプル数	468	100%
個人のペースで学習できる	160	34.2%
同じ内容を繰り返して学習できる	143	30.6%
登校できなくても学びの機会が確保できる	260	55.6%
他の学校や海外などの児童生徒とのコミュニケーションがとれる	28	6.0%
教師の説明時間の短縮等により、効率的な授業ができる	111	23.7%
写真や映像、イラストなどのデジタル教材を活用できる	315	67.3%
情報活用能力が育成できる	214	45.7%
自由な時間に学ぶことができる	99	21.2%
情報セキュリティや情報モラルマナーについて学習できる	96	20.5%
その他	24	5.1%
特に重要と思うことはない	19	4.1%
タブレット端末は教育に必要な	8	1.7%

「その他」の具体的な内容

活用できるような体制にはなっていないと感じる、理解できなかった・聞き逃したところをまた学べる、タブレット依存が心配、扱い方の勉強になっている(3)、病欠の時はタブレットで出席にするべき、通常登校では不要、プレゼン能力がつく、タイピングができるようになる、小学生には重すぎる、オンライン授業が便利、進捗管理や勉強の傾向・対策ができる、文字入力が楽、学習効果が悪い、提出物以外の使用方法が不明、学校との連絡事項の共有がスムーズ(2)、学習面ではほとんど使用していない など



割合の高い順に並び替えをしています。
グラフの表記を一部省略しています。

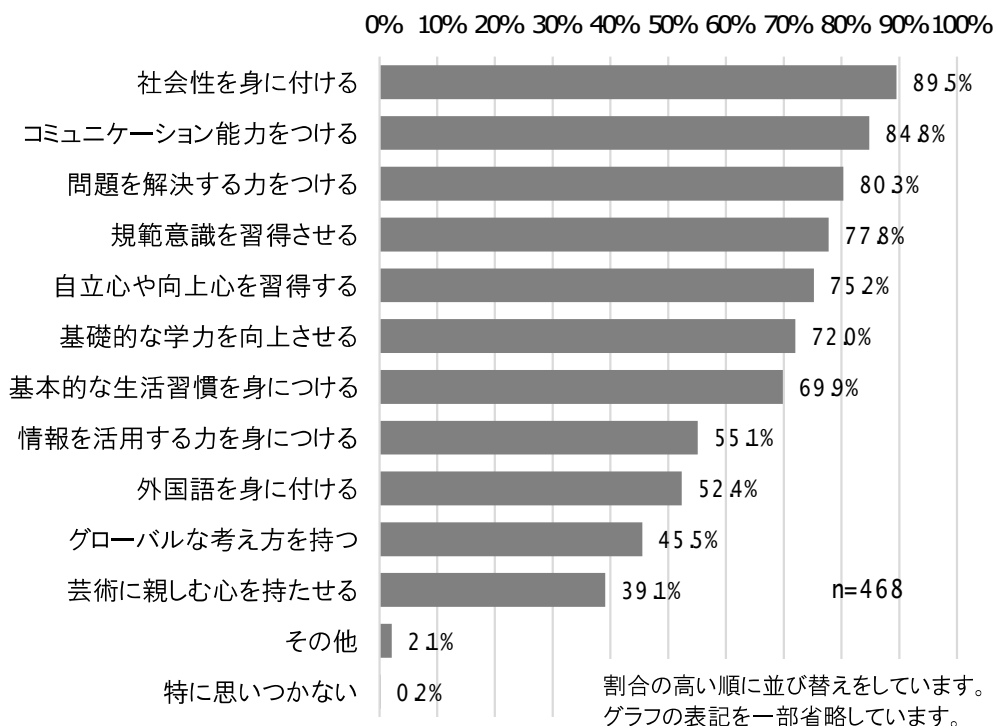
問20 お子さんが将来に向けて、身に付けて欲しいと思っていることは何ですか。（いくつでも）

「社会性（協調性や思いやりの心など）を身に付ける」が89.5%と最も高く、次いで「コミュニケーション能力をつける」が84.8%、「問題を解決する力をつける」が80.3%と続いています。

	N	%
サンプル数	468	100%
社会性（協調性や思いやりの心など）を身に付ける	419	89.5%
基礎的な学力を向上させる	337	72.0%
規範意識（ルールやマナーなど）を習得させる	364	77.8%
基本的な生活習慣を身につける	327	69.9%
問題を解決する力をつける	376	80.3%
コミュニケーション能力をつける	397	84.8%
自立心や向上心を習得する	352	75.2%
情報を活用する力を身につける	258	55.1%
音楽や美術等、芸術に親しむ心を持たせる	183	39.1%
外国語を身に付ける	245	52.4%
グローバルに活躍できるような考え方を持つ	213	45.5%
その他	10	2.1%
特に思いつかない	1	0.2%

「その他」の具体的な内容

自尊心、好奇心、広くて穏やかな探求心、男女で協力し合ってよい世界を作ること、自分の楽しく続けられることを探す・見つける力、リーダーシップ、サバイバル能力・探求心、情報リテラシー、自己肯定感を育てる、努力すること・自分の得意や好きと思えることを活かすこと、大切な人と同じくらい自分も大切にする、人種・民族・生涯・性的指向などに差別や偏見を持たない価値観 など



問21 あなたのお子さんは、将来どのような大人になってもらいたいと思いますか。（いくつでも）

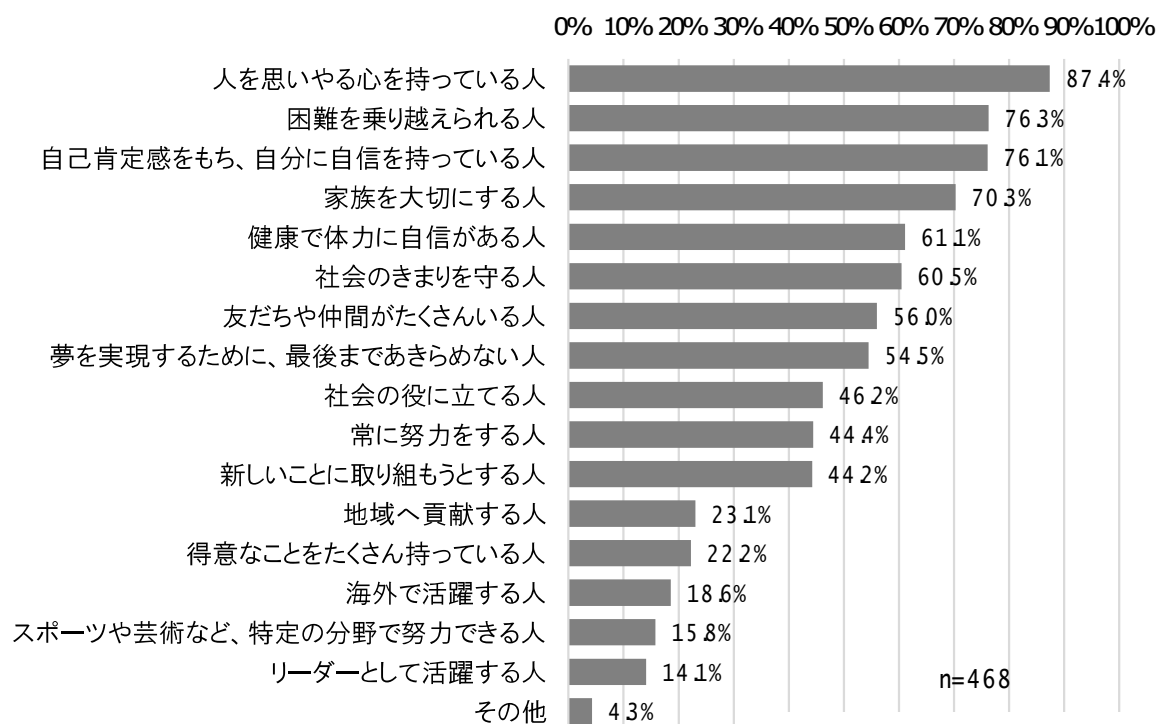
	N	%
サンプル数	468	100%
人を思いやる心を持っている人	409	87.4%
自己肯定感をもち、自分に自信を持っている人	356	76.1%
困難を乗り越えられる人	357	76.3%
家族を大切にする人	329	70.3%
友だちや仲間がたくさんいる人	262	56.0%
健康で体力に自信がある人	286	61.1%
常に努力をする人	208	44.4%
夢を実現するために、最後まであきらめない人	255	54.5%
社会のきまりを守る人	283	60.5%
新しいことに取り組もうとする人	207	44.2%
社会の役に立てる人	216	46.2%
海外で活躍する人	87	18.6%
得意なことをたくさん持っている人	104	22.2%
リーダーとして活躍する人	66	14.1%
スポーツや芸術など、特定の分野で努力できる人	74	15.8%
地域へ貢献する人	108	23.1%
その他	20	4.3%
特に思いつかない	0	0.0%

「人を思いやる心を持っている人」が87.4%と最も高く、次いで「困難を乗り越えられる人」が76.3%、「自己肯定感をもち、自分に自信を持っている人」が76.1%と続いています。

父親・母親別では、ともに「人を思いやる心を持っている人」が父親で93.4%、母親で86.2%と最も高く、次いで父親は「家族を大切にする人」（78.9%）、母親は「自己肯定感をもち、自分に自信を持っている人」・「困難を乗り越えられる人」（77.2%）が続いています。

「その他」の具体的な内容

人生を楽しめる人、健康的な生活を送る人、周りの人を大切にできる人、自分を好きでいられる人、周りに流されない人、常識の使い分けができる人 など



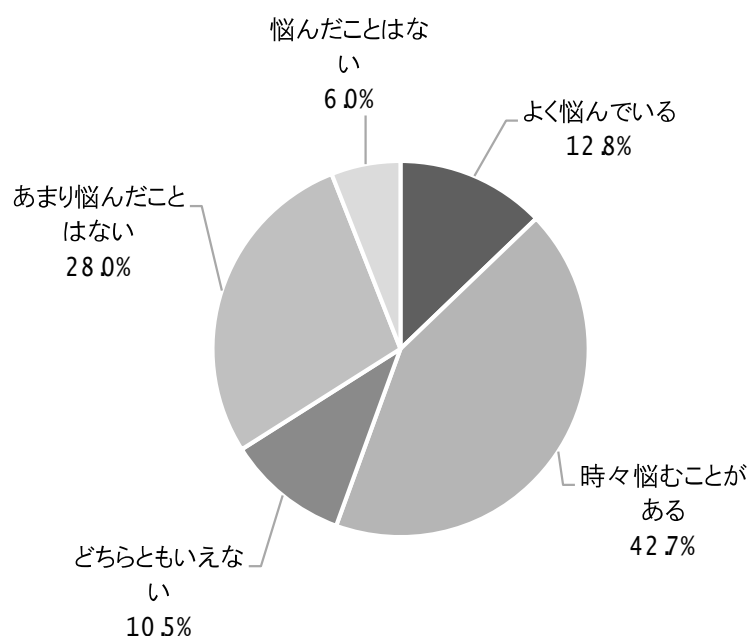
割合の高い順に並び替えをしています。

問22 あなたはお子さんの友だち関係や学校のことで悩んだことがありますか。（ひとつだけ）

「時々悩むことがある」が42.7%と最も高く、次いで「あまり悩んだことはない」が28.0%、「よく悩んでいる」が12.8%と続いています。

各学年、「時々悩むことがある」が最も高く、小学4年生では51.7%、小学5年生では40.4%、小学6年生では39.7%、中学1年生では42.2%、中学2年生では42.9%、中学3年生では36.8%です。「よく悩んでいる」は小学6年生の9.6%を除いて10%を超えており、小学5年生では15.7%、中学2年生では16.9%が「よく悩んでいる」と回答しています。

	N	%
サンプル数	468	100%
よく悩んでいる	60	12.8%
時々悩むことがある	200	42.7%
どちらともいえない	49	10.5%
あまり悩んだことはない	131	28.0%
悩んだことはない	28	6.0%



n=468

問23 あなたはお子さんに関することで悩んだとき、どのような人や機関に相談しますか。 (いくつでも)

「配偶者」が75.9%と最も高く、次いで「友人・知人」が48.9%、「学校の担任教員」が32.5%と続いています。

一方で、「いじめ相談ホットラインなどの電話相談」は0.2%と最も低いです。

	N	%
サンプル数	468	100%
配偶者	355	75.9%
あなたの両親（こどもの祖父母）	138	29.5%
その他の家族、親族	88	18.8%
学校の担任教員	152	32.5%
あなたの友人・知人	229	48.9%
学校の教育相談の専門員（スクールカウンセラー）	62	13.2%
スクールソーシャルワーカー	7	1.5%
校長や担任以外の教員（児童生徒指導担当教員など）	7	1.5%
教育センターの教育相談窓口（ワンストップ型教育相談窓口）	8	1.7%
いじめ相談ホットラインなどの電話相談	1	0.2%
警察や児童相談所	4	0.9%
教育委員会	6	1.3%
その他	26	5.6%
誰にも相談しない	14	3.0%
知らない、わからない	1	0.2%

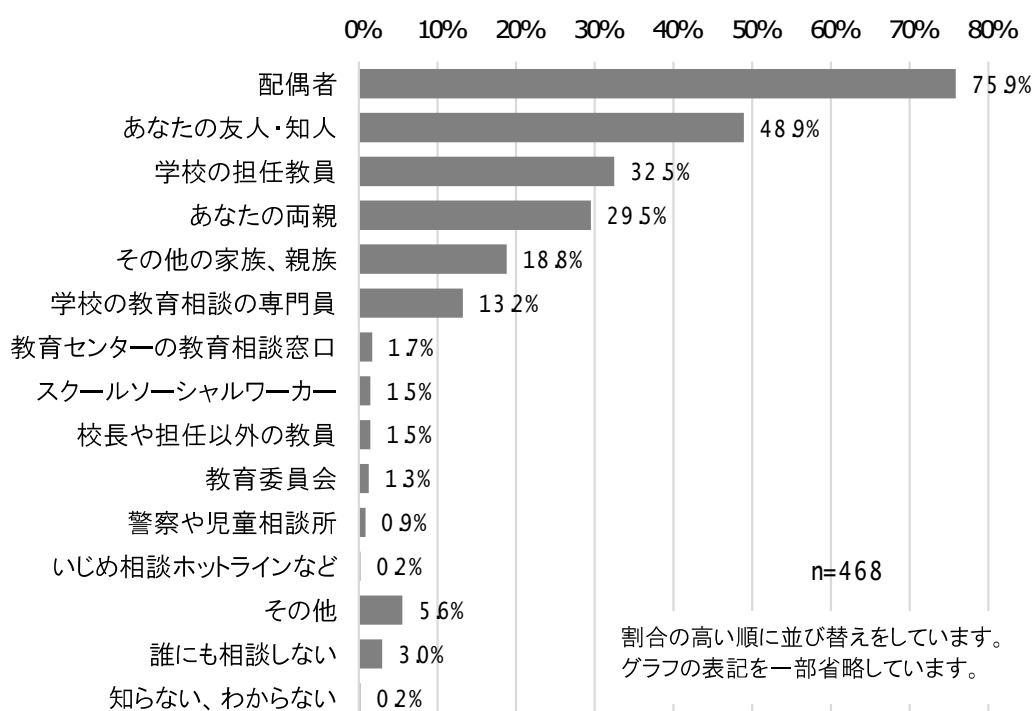
父親・母親ともに「配偶者」が最も高く、父親では82.9%が、母親では74.9%が 配偶者に相談をしています。

次いで、「友人・知人」が高く、父親では27.6%が、母親では53.1%が 知人や友人に相談をしています。

一方、教育相談窓口は父親2.6%、母親1.5%、いじめ相談ホットラインの回答者は1名で、公的機関の相談窓口を利用する保護者は少ないです。

「その他」の具体的な内容

職場の同僚(2)、塩浜CoCoの計画相談、議員、Twitter、ひまわり学級の先生、放課後デイサービスの先生、知り合い、会社のカウンセラー、精神科医(2)、心理療法士、友人の保護者 養護教諭、校長先生



問24 区（教育委員会）の相談窓口（ワンストップ型教育相談窓口）を知っていますか。
（ひとつだけ）

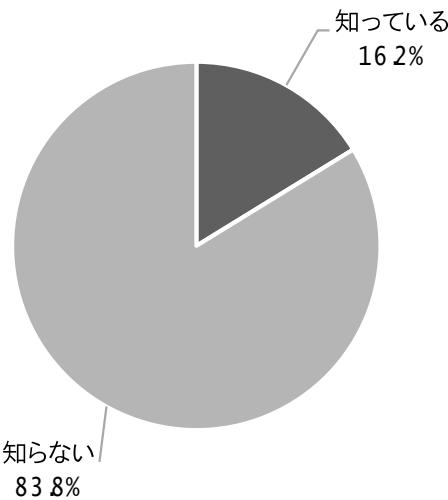
区（教育委員会）の相談窓口について、「知っている」は16.2%で、「知らない」は83.8%でした。

父親は89.5%、母親は82.8%が「知らない」と回答しています。

区別では、小松橋(20.4%)、大島(22.9%)では「知っている」が20%を上回っている一方、富岡(9.4%)、
亀戸(8.9%)は「知っている」が10%を下回っています。

年齢別では、29歳以下(0.0%)、30～39歳(26.3%)、40～49歳(17.9%)、50～59歳(9.1%)、
60～69歳(20.0%)、70歳以上(0.0%)でした。

	N	%
サンプル数	468	100%
知っている	76	16.2%
知らない	392	83.8%



n=468

問25 あなたのお子さんが通う学校についてお伺いします。
これからの学校教育で重要と思うことは何ですか。（いくつでも）

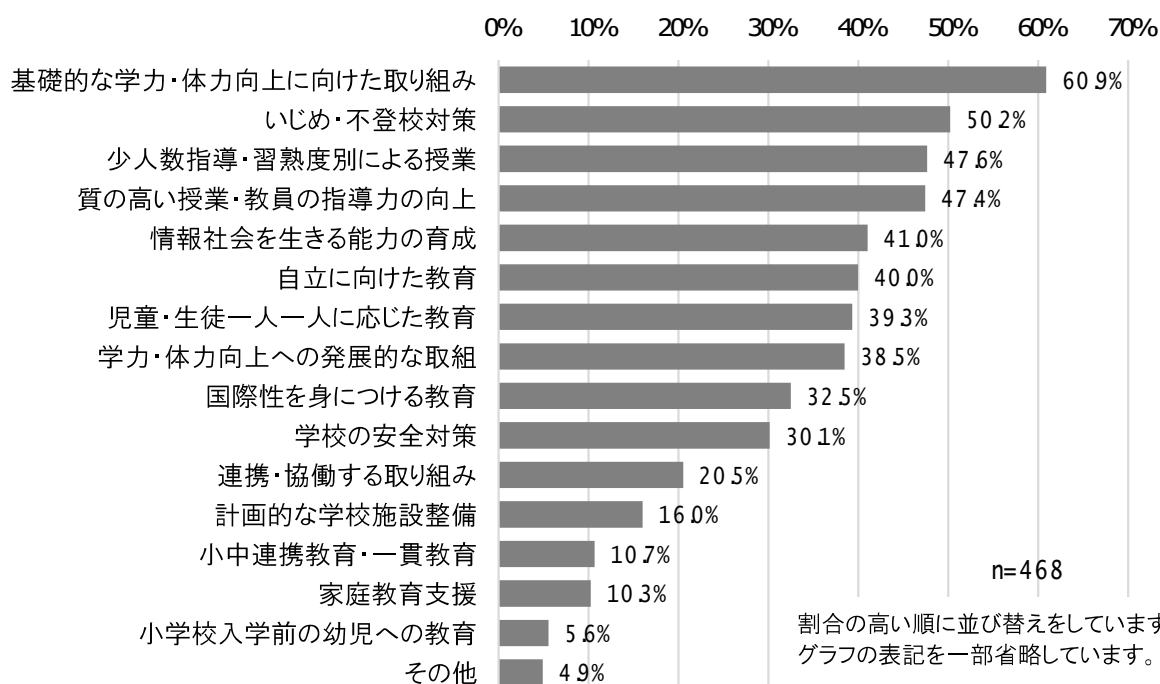
	N	%
サンプル数	468	100%
少人数指導・習熟度別による授業	223	47.6%
国際性を身につける教育	152	32.5%
いじめ・不登校対策	235	50.2%
基礎的な学力・体力向上に向けた取り組み	285	60.9%
質の高い授業・教員の指導力の向上	222	47.4%
児童・生徒一人一人に応じた教育	184	39.3%
情報社会を生きる能力の育成	192	41.0%
自立に向けた教育（キャリア教育）	187	40.0%
学力・体力向上への発展的な取り組み	180	38.5%
学校の安全対策	141	30.1%
小中連携教育・一貫教育	50	10.7%
小学校入学前の幼児への教育	26	5.6%
家庭教育支援	48	10.3%
計画的な学校施設整備	75	16.0%
地域・家庭・学校が連携・協働する取組	96	20.5%
その他	23	4.9%
重要だと思うものは特になし	2	0.4%

「基礎的な学力・体力向上に向けた取り組み」が60.9%と最も高いです。これは父親、母親ともに同様です。

次いで「いじめ・不登校対策」が50.2%、「少人数指導・習熟度別による授業」が47.6%と続いています。ただし、母親の場合は「少人数指導・習熟度別による授業」の方が高くなっています。

「その他」の具体的な内容

私学に近い教育、プレゼン力・プレゼン能力、自主性・多様性(2)、人それぞれの魅力を引き出し尊重する、内面の成長補佐、伝統行事の継承、障害児への配慮、働き方改革、デジタル教育の教科、複数担任制、情報リテラシー能力の育成、インクルーシブ教育、開かれた学校 学芸会・運動会・展覧会の三本柱、金融教育、運動の場の整備など



問26 勉強以外に学校に期待することはありますか。（いくつでも）

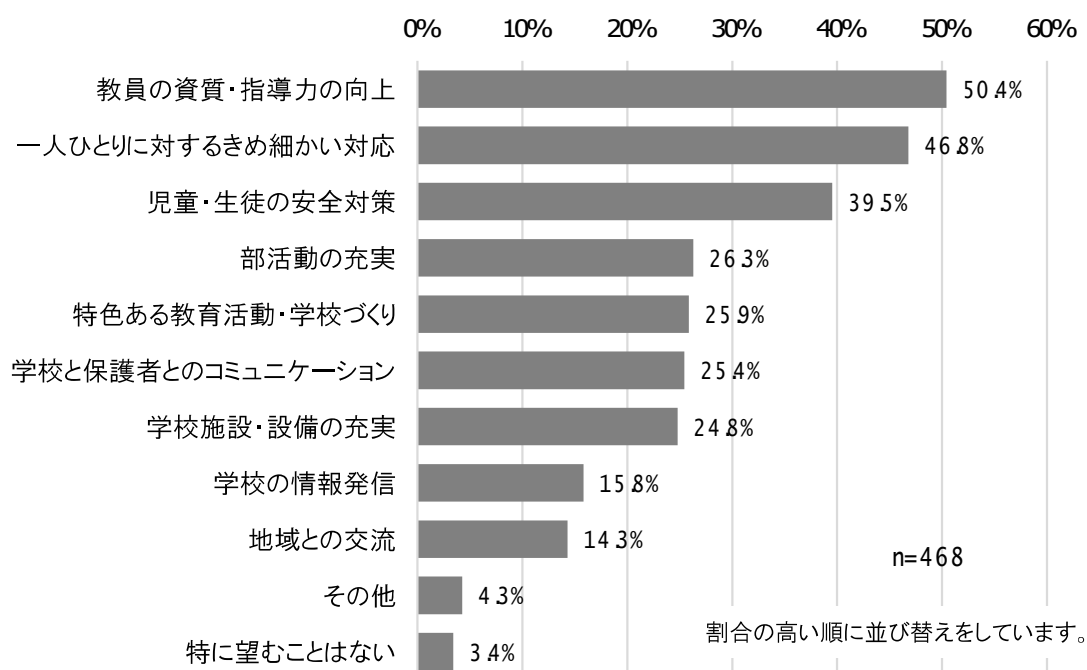
「教員の資質・指導力の向上」が50.4%と最も高く、次いで「児童・生徒一人ひとりに対するきめ細かい対応」が46.8%、「児童・生徒の安全対策」が39.5%と続いています。

年齢別では、29歳以下・30～39歳で「児童・生徒の安全対策」が、40～49歳・50～59歳では「教員の資質・指導力の向上」が、60～69歳では「児童・生徒一人ひとりに対するきめ細かい対応」が最も高くなっています。

	N	%
サンプル数	468	100%
児童・生徒一人ひとりに対するきめ細かい対応	219	46.8%
特色ある教育活動・学校づくり	121	25.9%
教員の資質・指導力の向上	236	50.4%
児童・生徒の安全対策	185	39.5%
部活動の充実	123	26.3%
学校の情報発信	74	15.8%
学校施設・設備の充実	116	24.8%
学校と保護者とのコミュニケーション	119	25.4%
地域との交流	67	14.3%
その他	20	4.3%
特に望むことはない	16	3.4%

「その他」の具体的な内容

校則の見直し(2)、給食の内容、自閉症等への理解、これ以上望むことはない、行事やイベントの充実、資格を取る、業務改善（働き方改革）(2)、デジタル教育、多様な価値観と共生 こどもの声などで苦情を言う人への対応、楽しく学校へ行けること、学習以外でも個性を伸ばせる子を注意深く見てあげる など



問27 近年、教育現場においてもニーズが多様化しています。それに対応するためにあなたは何が重要だと思いますか。（いくつでも）

「いじめ・不登校の未然防止」が50.9%と最も高く、次いで「個性の尊重」が43.2%、「教職員の専門性の向上」が38.7%と続いています。

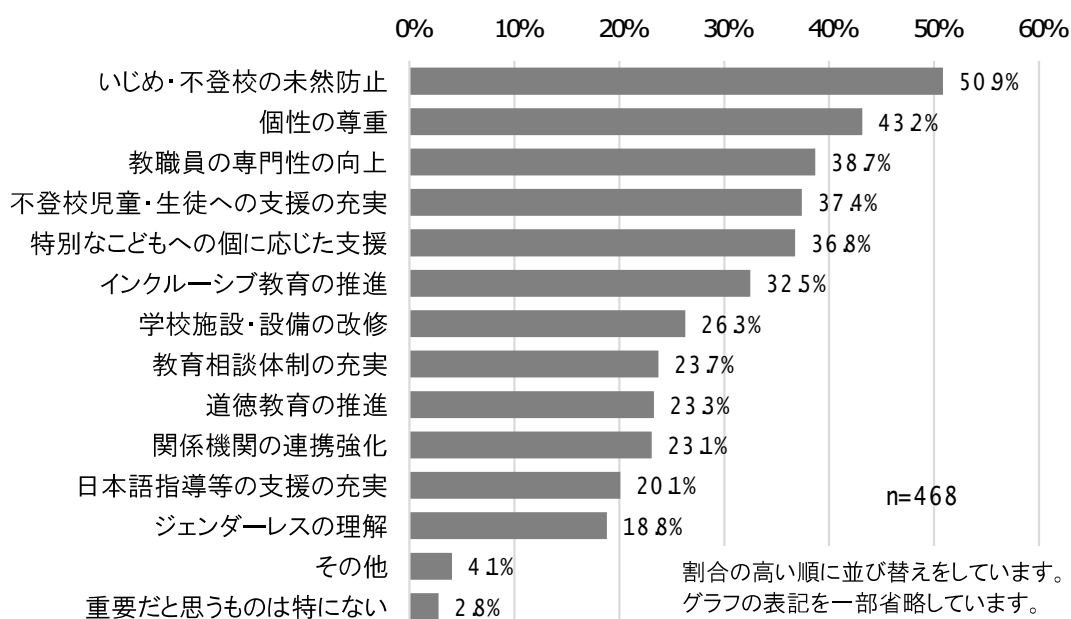
	N	%
サンプル数	468	100%
特別な支援を必要とするこどもへの個に応じた支援の充実	172	36.8%
インクルーシブ（多様なこどもたちが同じ場所で学びあう）教育の推進	152	32.5%
いじめ・不登校の未然防止	238	50.9%
不登校児童・生徒への支援の充実	175	37.4%
多言語に対応した日本語指導等の支援の充実	94	20.1%
学校施設・設備の改修	123	26.3%
教育相談体制の充実	111	23.7%
道徳教育の推進	109	23.3%
ジェンダーレスの理解	88	18.8%
個性の尊重	202	43.2%
教職員の専門性の向上	181	38.7%
関係機関の連携強化	108	23.1%
その他	19	4.1%
重要だと思うものは特にな	13	2.8%

29歳以下は「インクルーシブ教育推進」、「いじめ・不登校未然防止」、「施設設備修繕」が高くなっています。

30～39歳は「個性の尊重」が、40～49歳・50～59歳では「いじめ・不登校未然防止」が、60～69歳では「多言語に対応した日本語指導等の支援充実」が最も高くなっています。

「その他」の具体的な内容

教職員の負担軽減・人数増加(3)、こどもへの理解、発達障害に対する理解、給与アップ、ボランティアを増やす(2)、犯罪対策、成績の仕組みを変える、保護者間コミュニケーション、金融教育、学校で完結する学び、1クラスの人数を減らす など



問28 小学校、中学校の環境で重要だと思う事は何ですか。（それぞれひとつずつ）（5段階評価）

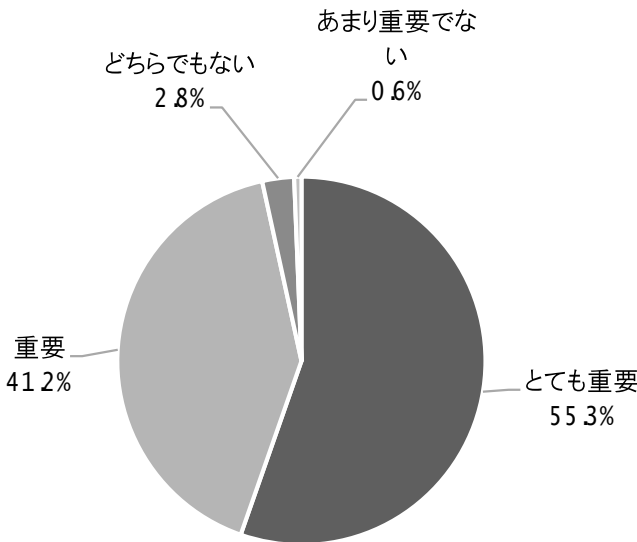
m1 快適な教室空間

「とても重要」が55.3%と最も高く、「重要」は41.2%でした。

快適な教室空間について、96.5%が重要だと回答しています。

父親では「重要」(48.7%)が、母親では「とても重要」(57.2%)が最も高くなっています。

	N	%
サンプル数	468	100%
とても重要	259	55.3%
重要	193	41.2%
どちらでもない	13	2.8%
あまり重要でない	3	0.6%
まったく重要でない	0	0.0%
無回答	0	0.0%



n=468

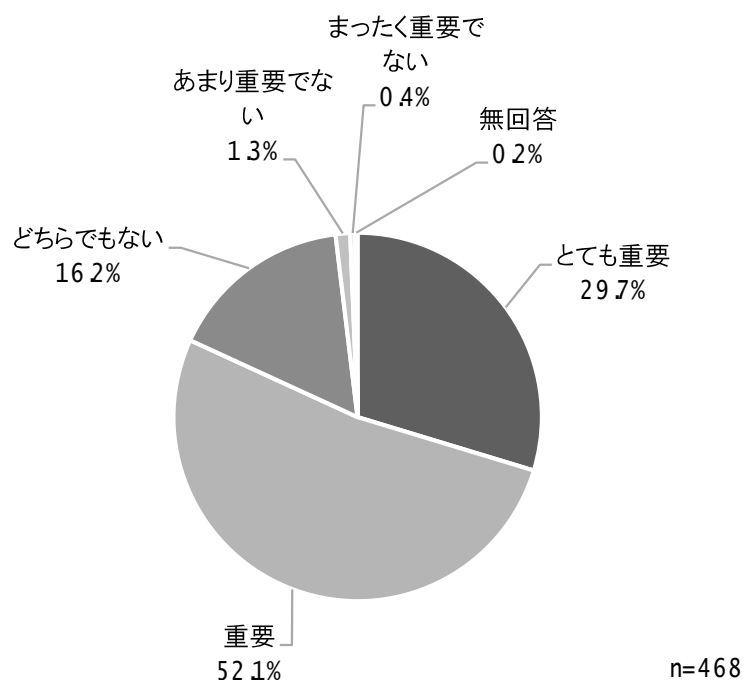
m2 ICT環境の充実

「重要」が52.1%と最も高く、「とても重要」が29.7%でした。

ICT環境の充実について、81.8%が重要だと回答しています。

父親では「とても重要」(40.8%)が最も高く、母親では「重要」(55.4%)が最も高くなっています。

	N	%
サンプル数	468	100%
とても重要	139	29.7%
重要	244	52.1%
どちらでもない	76	16.2%
あまり重要でない	6	1.3%
まったく重要でない	2	0.4%
無回答	1	0.2%



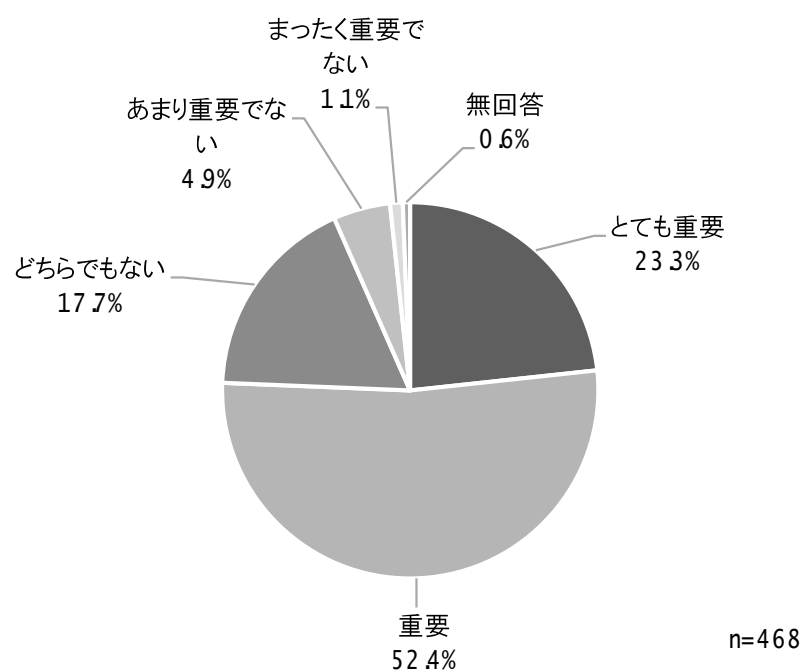
m3 バリアフリー・ジェンダーフリーの設備

「重要」が52.4%と最も高く、「とても重要」は23.3%でした。

バリアフリー・ジェンダーフリーの設備について、75.7%が重要だと回答しています。

ともに「重要」が最も高く、父親では43.4%、母親では54.4%でした。

	N	%
サンプル数	468	100%
とても重要	109	23.3%
重要	245	52.4%
どちらでもない	83	17.7%
あまり重要でない	23	4.9%
まったく重要でない	5	1.1%
無回答	3	0.6%



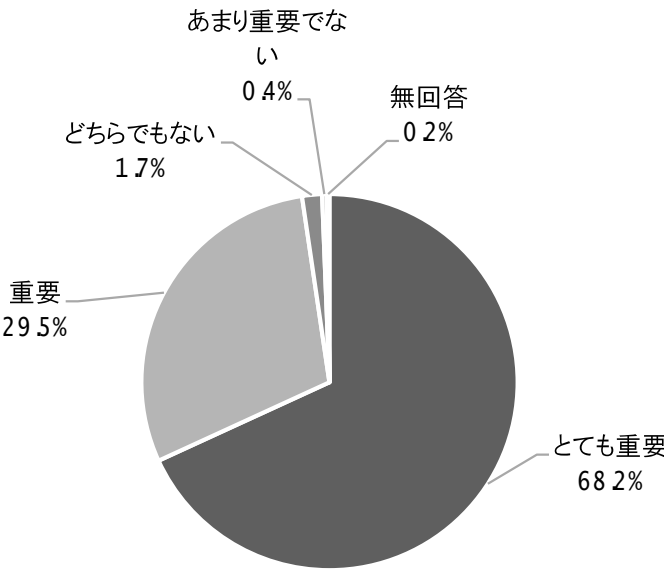
m4 防災性に優れた校舎

「とても重要」が68.2%と最も高く、「重要」は29.5%でした。

防災性に優れた校舎について、97.7%が重要だと回答しています。

父親では57.9%が、母親では70.3%が「とても重要」と回答しています。

	N	%
サンプル数	468	100%
とても重要	319	68.2%
重要	138	29.5%
どちらでもない	8	1.7%
あまり重要でない	2	0.4%
まったく重要でない	0	0.0%
無回答	1	0.2%



n=468

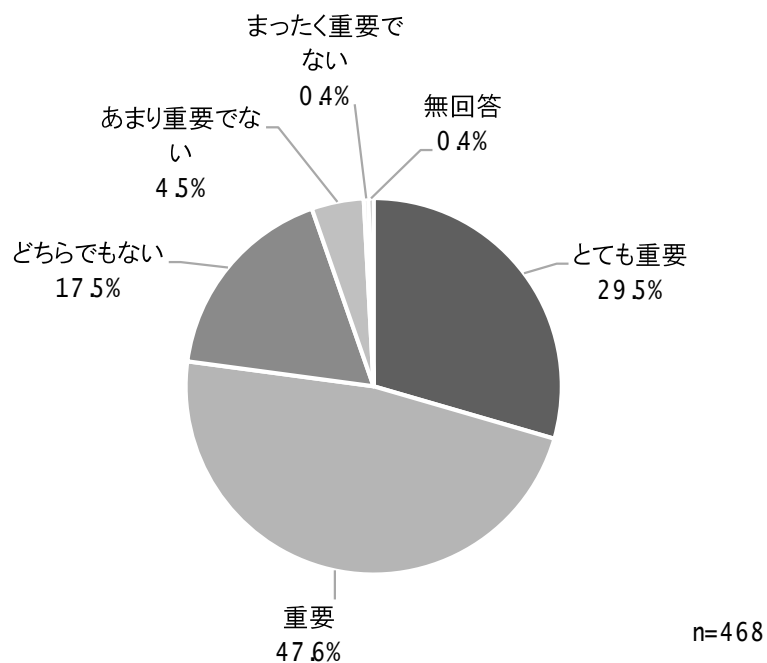
m5 環境に配慮されたつくり（緑化、木質化、太陽光・雨水利用）

「重要」が47.6%と最も高く、「とても重要」は29.5%でした。

緑化や太陽光利用など、環境に配慮されたつくりについて、77.1%が重要だと回答しています。

ともに「重要」が最も高く、父親では38.2%、母親では49.5%でした。

	N	%
サンプル数	468	100%
とても重要	138	29.5%
重要	223	47.6%
どちらでもない	82	17.5%
あまり重要でない	21	4.5%
まったく重要でない	2	0.4%
無回答	2	0.4%



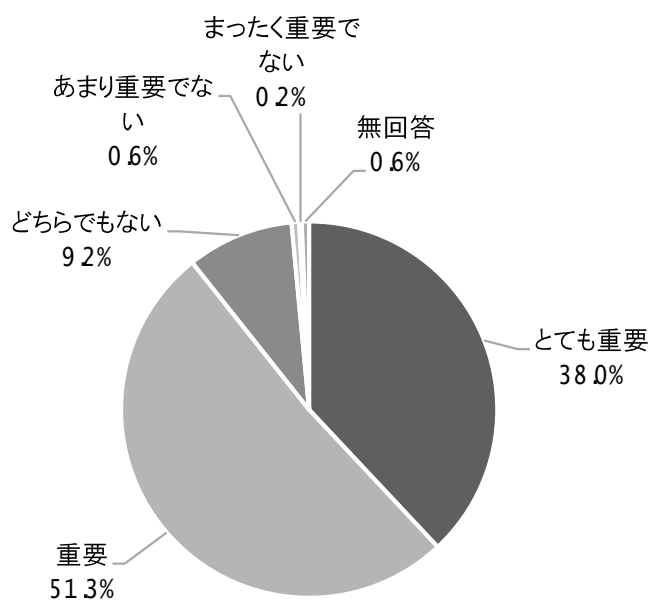
m6 プライバシーの配慮

「重要」が51.3%と最も高く、「とても重要」は38.0%でした。

プライバシーの配慮について、89.3%が重要だと回答しています。

ともに「重要」が最も高く、父親と母親ともに51.3%でした。

	N	%
サンプル数	468	100%
とても重要	178	38.0%
重要	240	51.3%
どちらでもない	43	9.2%
あまり重要でない	3	0.6%
まったく重要でない	1	0.2%
無回答	3	0.6%



n=468

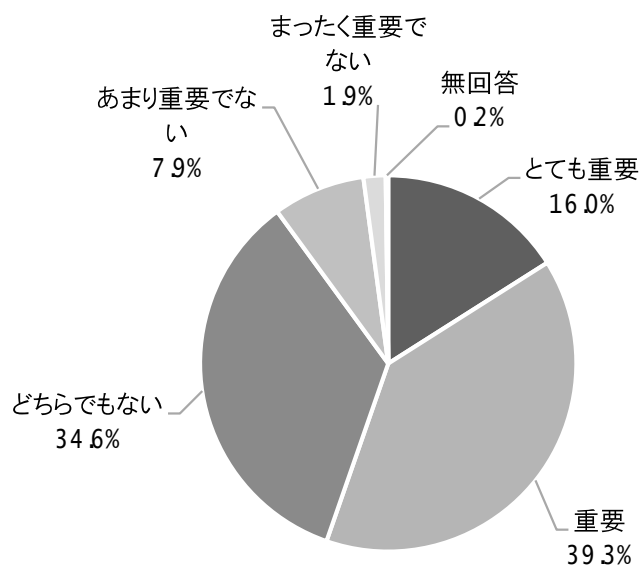
m7 地域との交流スペース

「重要」が39.3%と最も高く、「どちらでもない」が34.6%でした。

地域との交流スペースについて、55.3%が重要だと回答しています。

父親・母親ともに「重要」が最も高く、父親では39.5%、母親では39.2%でした。

	N	%
サンプル数	468	100%
とても重要	75	16.0%
重要	184	39.3%
どちらでもない	162	34.6%
あまり重要でない	37	7.9%
まったく重要でない	9	1.9%
無回答	1	0.2%



n=468

問28 各項目結果比較

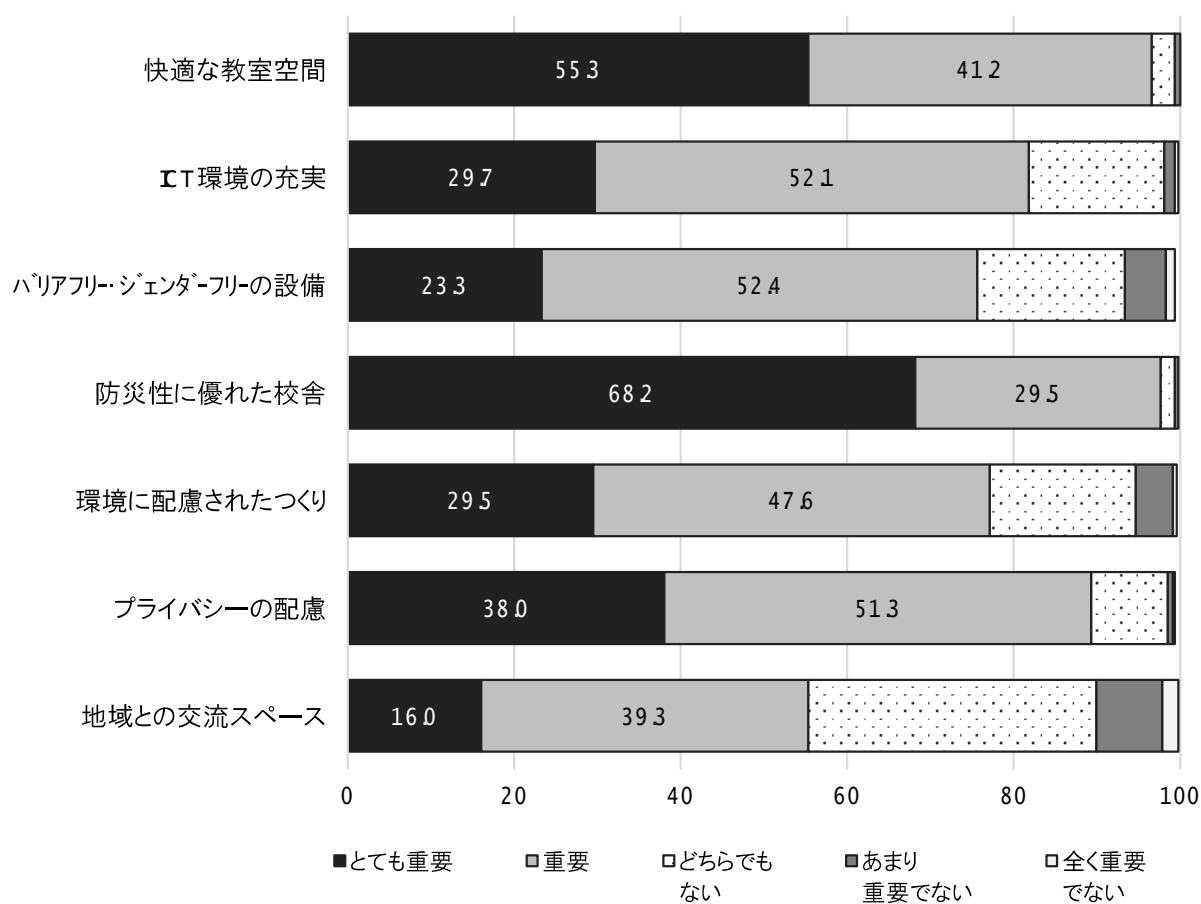
小学校・中学校の環境で重要だと思うこと7項目の結果を示しています。

「快適な教室空間」・「防災性に優れた校舎」・「プライバシーの配慮」の3項目

は他の項目に比べて、重要という回答が多い結果でした。

	とても重要	重要	どちらでもない	あまり重要でない	全く重要でない
快適な教室空間	55.3	41.2	2.8	0.6	0.0
ICT環境の充実	29.7	52.1	16.2	1.3	0.4
バリアフリー・ジェンダーフリーの設備	23.3	52.4	17.7	4.9	1.1
防災性に優れた校舎	68.2	29.5	1.7	0.4	0.0
環境に配慮されたづくり	29.5	47.6	17.5	4.5	0.4
プライバシーの配慮	38.0	51.3	9.2	0.6	0.2
地域との交流スペース	16.0	39.3	34.6	7.9	1.9

※無回答を除く

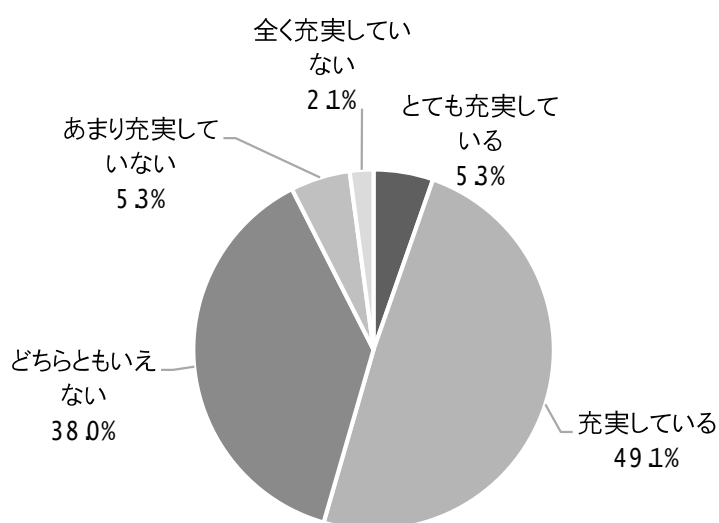


問29 次に、江東区の教育についてお伺いします。江東区の教育環境は充実していると思いますか。
(ひとつだけ)

「充実している」が49.1%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が38.0%、「とても充実している」が5.3%と続いています。54.4%が充実していると思っている一方で、7.4%が充実していないと思っています。

「あまり充実していない」「全く充実していない」について、父親は「あまり充実していない」が2.6%、「全く充実していない」が0.0%で、母親は「あまり充実していない」5.9%、「全く充実していない」が2.6%でした。

	N	%
サンプル数	468	100%
とても充実している	25	5.3%
充実している	230	49.1%
どちらともいえない	178	38.0%
あまり充実していない	25	5.3%
全く充実していない	10	2.1%



n=468

問30 江東区の掲げる以下の理念の中で、ふさわしいと思うものをお選びください。（いくつでも）

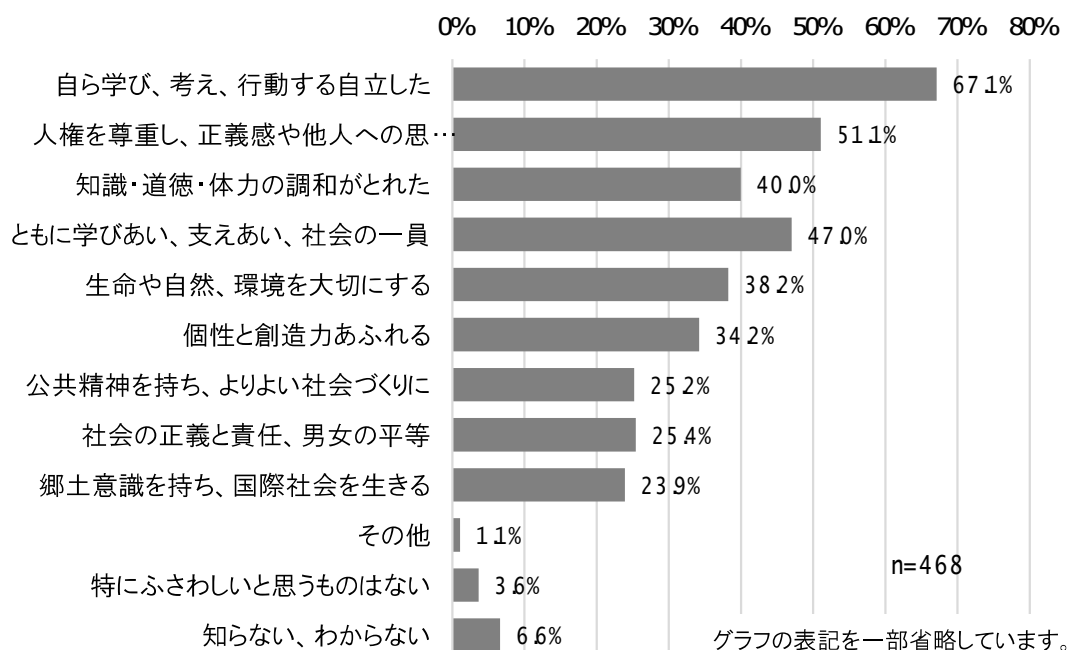
「自ら学び、考え、行動する自立した人間の育成」が67.1%で最も高く、次いで「人権を尊重し、正義感や他人への思いやりにあふれる人間の育成」が51.1%と続いています。

一方、「郷土意識を持ち、国際社会を生きる人間の育成」は23.9%と最も低いです。

	N	%
サンプル数	468	100%
自ら学び、考え、行動する自立した人間の育成	314	67.1%
人権を尊重し、正義感や他人への思いやりにあふれる人間の育成	239	51.1%
知識・道徳・体力の調和がとれた人間の育成	187	40.0%
ともに学びあい、支えあい、社会の一員として役割を果たす人間の育成	220	47.0%
生命や自然、環境を大切にする人間の育成	179	38.2%
個性と創造力あふれる人間の育成	160	34.2%
公共精神を持ち、よりよい社会づくりに主体的に取り組む人間の育成	118	25.2%
社会の正義と責任、男女の平等を大切にする人間の育成	119	25.4%
郷土意識を持ち、国際社会を生きる人間の育成	112	23.9%
その他	5	1.1%
特にふさわしいと思うものはない	17	3.6%
知らない、わからない	31	6.6%

「その他」の具体的な内容

どれもふさわしいと思うが多すぎる、基礎的な学力のみ学校が行う、掲げているほとんどが理想論で実感が伴わない など



問31 教育委員会の取組について、あなたは何で情報を得ますか。（いくつでも）

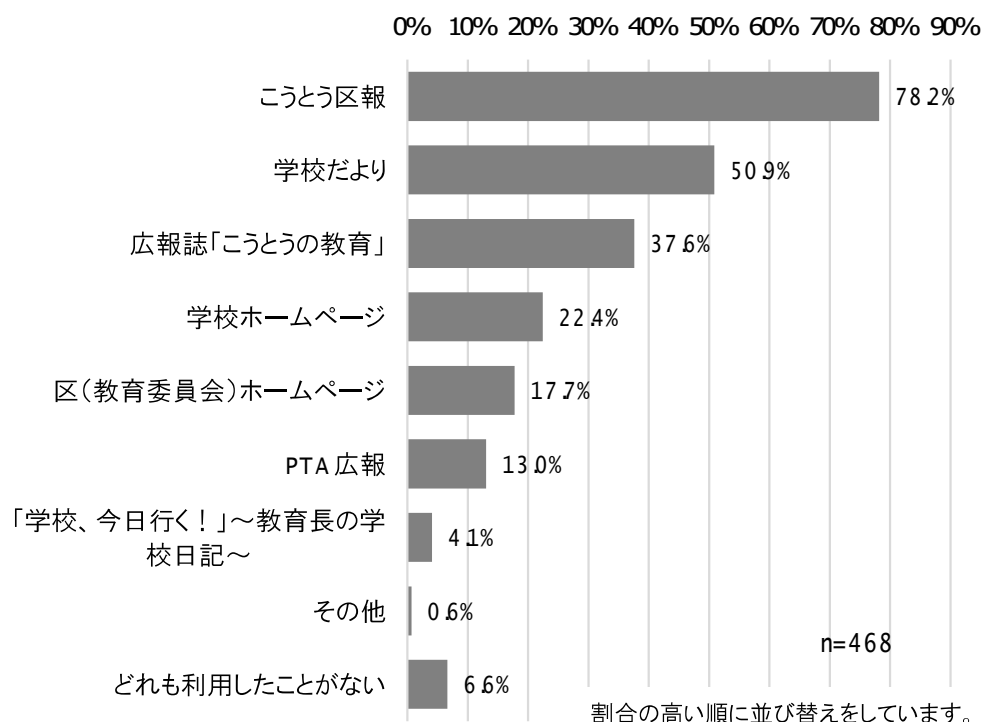
「こうとう区報」が78.2%と最も高く、次いで「学校だより」が50.9%、「広報誌「こうとうの教育」」が37.6%と続いています。

年齢別では、各年代「こうとう区報」が最も高く、次いで「学校だより」も同様です。これに続いて29歳以下では「学校ホームページ」・「広報誌「こうとうの教育」」が同率の14.3%、30～39歳(31.6%)・40～49歳(40.4%)・50～59歳(33.6%)は「広報誌「こうとうの教育」」と続いています。

	N	%
サンプル数	468	100%
区(教育委員会)ホームページ	83	17.7%
こうとう区報	366	78.2%
広報誌「こうとうの教育」	176	37.6%
学校だより	238	50.9%
学校ホームページ	105	22.4%
「学校、今日行く!」～教育長の学校日記～	19	4.1%
PTA広報	61	13.0%
その他	3	0.6%
どれも利用したことがない	31	6.6%

「その他」の具体的な内容

ママ友等からの情報、江東ワイドスクエア、特定媒体から情報を得ようと思ったことはない



江東区では、学校教育の維持向上のため、教員の長時間勤務の是正に向けた
 問32 「学校における働き方改革」を進めています。教員の働き方改革に関する取組
 について必要と思うものをお選びください。（いくつでも）

「人的支援や効率化などによる事務負担の軽減」が76.5%と最も高く、次いで「出退勤時刻の客観的な把握により適正な時間管理の実施」が41.5%と続いています。

	N	%
サンプル数	468	100%
人的支援や効率化などによる事務負担の軽減	358	76.5%
出退勤時刻の客観的な把握により適正な時間管理の実施	194	41.5%
自宅等への持ち帰り作業の禁止	183	39.1%
学校が参加するイベントなどの見直し	175	37.4%
教員の意識改革	157	33.5%
部活動運営の適性化	190	40.6%
部活動を地域での活動に移行	165	35.3%
地域や保護者による学校支援の強化	67	14.3%
DX(データやデジタル技術を活用した教育)の推進	169	36.1%
学校以外(民間施設等)のプールの活用	123	26.3%
その他	20	4.3%
必要と思うものはない	7	1.5%

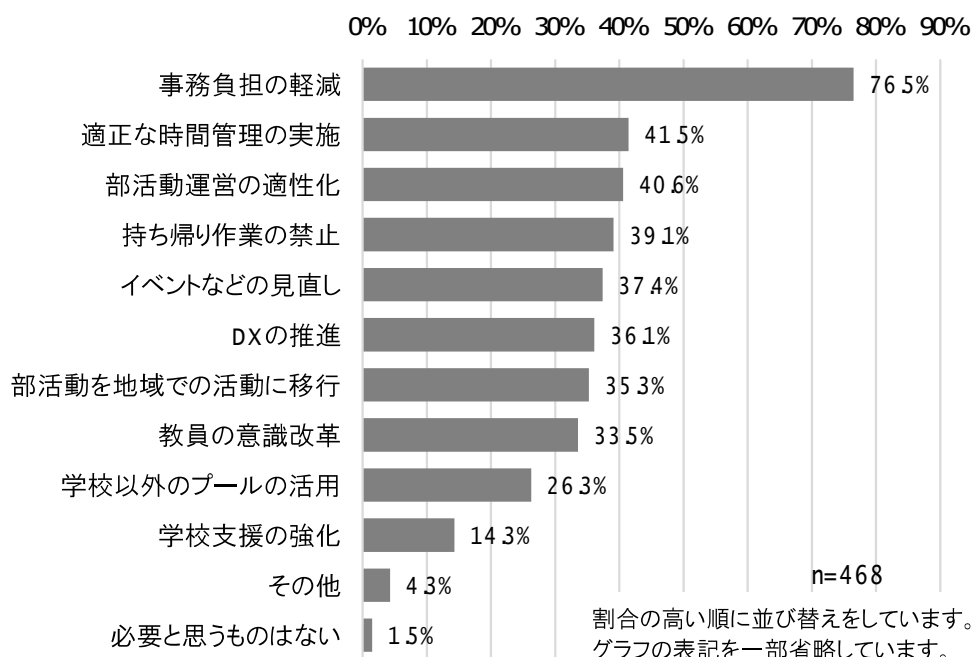
父親母親ともに「人的支援や効率化などによる事務負担の軽減」が最も高いです。

次いで父親では「DXの推進」(50.0%)、「出退勤の客観的な把握」・「持ち帰り作業禁止」(38.2%)と続いています。

母親では「出退勤の客観的な把握」(42.3%)、「部活動運営の適性化」(42.1%)と続いています。

「その他」の具体的な内容

プールは民間委託でよい、給食指導について、意識改革、無駄な校則廃止、業務見直し(7)、保護者への分担、地域行事をなくす、こどもに向き合う時間を増やす、専門家や外部資源を活用する など



問33 あなたが教職員に求めることは何ですか。（いくつでも）

「公平に子どもを評価する」が78.6%と最も高く、次いで「社会人としての一般常識を持っている」が70.9%と続いています。

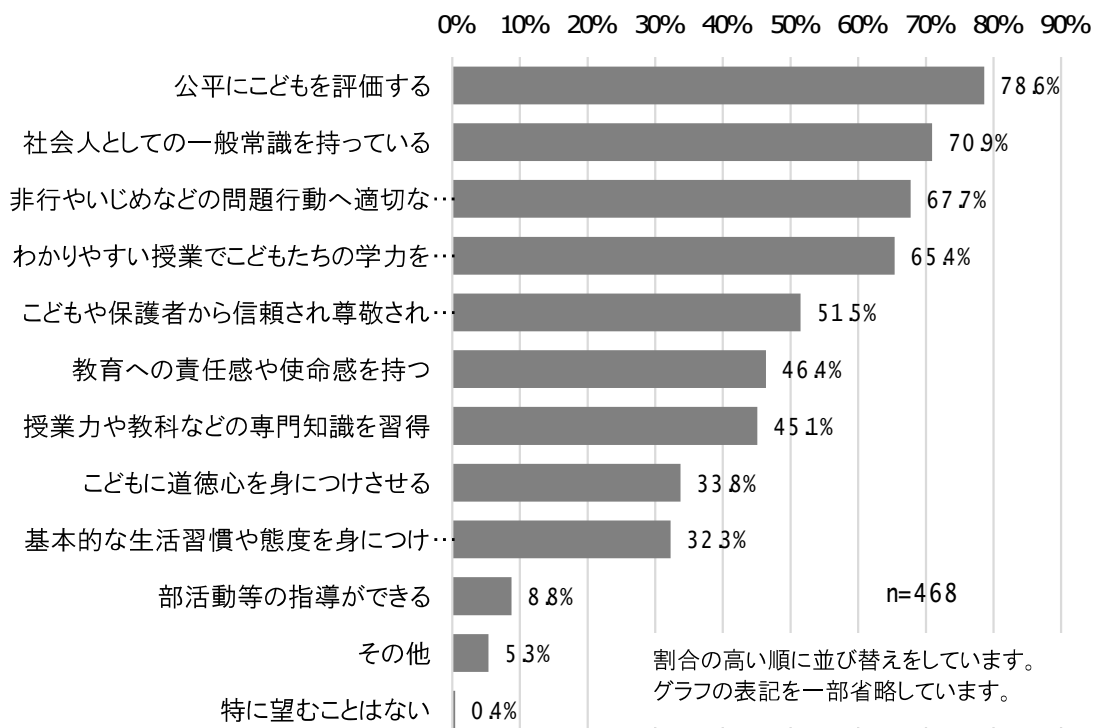
	N	%
サンプル数	468	100%
公平に子どもを評価する	368	78.6%
非行やいじめなどの問題行動へ適切な対応をする	317	67.7%
社会人としての一般常識を持っている	332	70.9%
わかりやすい授業で子どもたちの学力を上げる	306	65.4%
子どもや保護者から信頼され尊敬される人格を持っている	241	51.5%
子どもに基本的な生活習慣や態度を身につけさせる	151	32.3%
子どもに道徳心を身につけさせる	158	33.8%
教育への責任感や使命感を持つ	217	46.4%
授業力や教科などの専門知識を習得している	211	45.1%
部活動等の指導ができる	41	8.8%
その他	25	5.3%
特に望むことはない	2	0.4%

父親は「社会人としての一般常識を持っている」が72.4%と最も高く、母親は「公平に子どもを評価する」が80.3%と最も高いです。

次いで、父親は「公平に子どもを評価する」・「非行やいじめなどの問題行動へ適切な対応をする」がいずれも71.1%と続き、母親は「社会人としての一般常識を持っている」が70.8%と続いています。

「その他」の具体的な内容

専門性、仕事を楽しむ(2)、個の尊重(2)、バフハラの理解(2)、時代に合った教育、性犯罪を起こさない、子どもの立場に立つ、一般社会の常識を持つ(2) など



問34 地域での活動についてお伺いします。あなたは地域で行っている次のような活動に参加したことはありますか。（いくつでも）

「地域イベントやお祭りなどへの参加・協力」が47.2%と最も高く、次いで「こどもたちの通学区域の安全を守る巡回活動への参加・協力」が32.7%と続いています。

	N	%
サンプル数	468	100%
こどもたちの通学区域の安全を守る巡回活動への参加・協力	153	32.7%
「こども110番の家」の協力	19	4.1%
児童館、図書館などでのボランティア	30	6.4%
特技や能力を活かした、授業や課外活動への協力	36	7.7%
地域の美化・清掃活動の協力	79	16.9%
花壇や芝生などの整備の協力	21	4.5%
地域イベントやお祭りなどの参加・協力	221	47.2%
災害発生時に備えた訓練等の参加	82	17.5%
その他	5	1.1%
特に何もしていない	141	30.1%

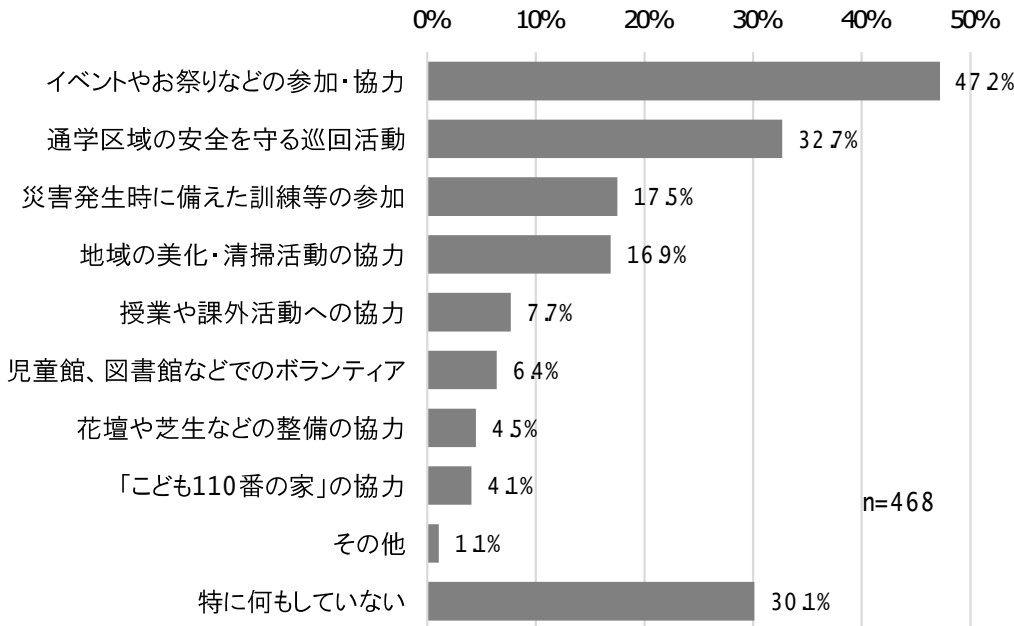
年齢別では、29歳以下は「巡回活動への参加・協力」と「特に何もしていない」がいずれも42.9%と最も高く、30代では「特に何もしていない」、40～50代では「地域イベントやお祭りなどの参加・協力」が高くなっています。

次いで、30代以下は「地域イベントやお祭りなどの参加・協力」が、40～50代は「巡回活動への参加・協力」が続いています。

一方、40～49歳を除いて「特に何もしていない」が各年代30%以上でした。

「その他」の具体的な内容

町内会のこども会、校外授業の見守りボランティア、深川えんみちのお手伝い、PTA、数矢バスケのサポート



割合の高い順に並び替えをしています。
グラフの表記を一部省略しています。

問35 地域と学校の連携について、あなたはどのように思いますか。（いくつでも）

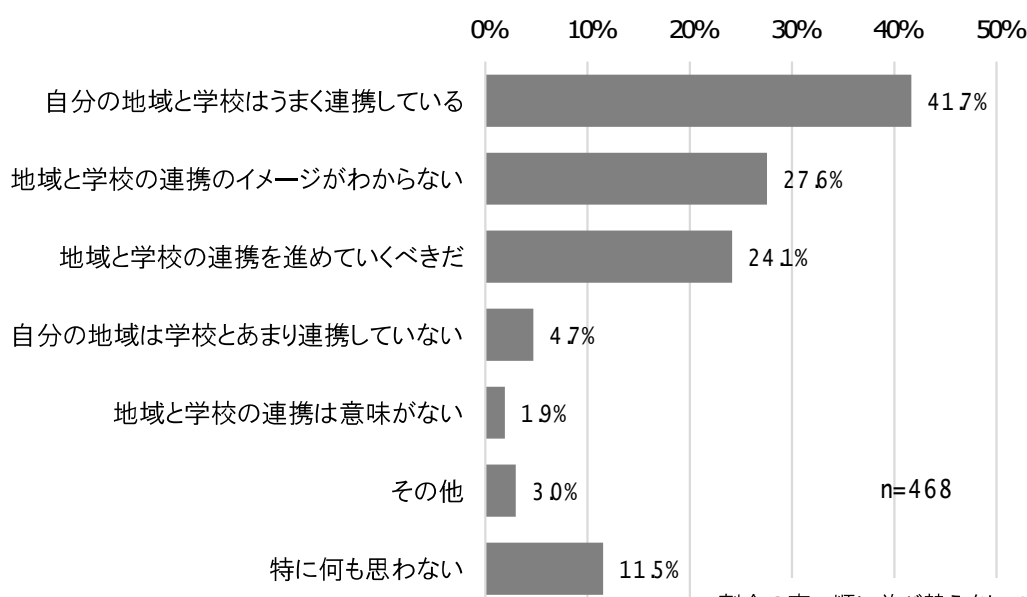
「自分の地域と学校はうまく連携している」が41.7%と最も高く、次いで「地域と学校の連携のイメージがわからない」が27.6%と続いています。

年齢別では、29歳以下から50～59歳まで「自分の地域と学校はうまく連携している」が最も高くなっており、次いで、29歳以下は「イメージがわからない」「連携を進めていくべきだ」「あまり連携していない」が14.3%と続いています。30～39歳では「連携を進めていくべきだ」が23.7%と続いています。40～49歳では「連携のイメージがわからない」が28.7%と続いており、50～59歳でも「連携のイメージがわからない」が26.4%と続いています。

	N	%
サンプル数	468	100%
自分の地域と学校はうまく連携している	195	41.7%
地域と学校の連携のイメージがわからない	129	27.6%
こどもの成長のためにも地域と学校の連携を進めていくべきだ	113	24.1%
自分の地域は学校とあまり連携していない	22	4.7%
地域と学校の連携は意味がない	9	1.9%
その他	14	3.0%
特に何も思わない	54	11.5%

「その他」の具体的な内容

適度な連携でよい(2)、特に必要ない(3)、PTAが介入しすぎている(2)、学校が地域と連携したいのか不明 など



割合の高い順に並び替えをしています。
グラフの表記を一部省略しています。

問36 地域の中の学校として、地域が学校に協力できることは何だと考えますか。（いくつでも）

「地域の子どもへのあいさつや声かけ」が61.1%と最も高く、次いで「事件発生時の通報、見守り」が57.5%と続いています。

	N	%
サンプル数	468	100%
地域の子どもへのあいさつや声かけ	286	61.1%
子どもたちの通学区域の安全を守る巡回活動への参加・協力	255	54.5%
運動会や文化祭などの学校行事への参加・協力	152	32.5%
学校や学校周辺の美化・清掃活動への参加・協力	149	31.8%
特技や能力を活かした授業への協力	131	28.0%
部活動・クラブ活動などの指導への協力	149	31.8%
放課後活動への協力	103	22.0%
読み聞かせや図書室の整理等の学校図書ボランティア	106	22.6%
花壇や芝生などの整備への協力	122	26.1%
災害時の避難誘導	196	41.9%
事件発生時の通報、見守り	269	57.5%
その他	6	1.3%
わからない	27	5.8%

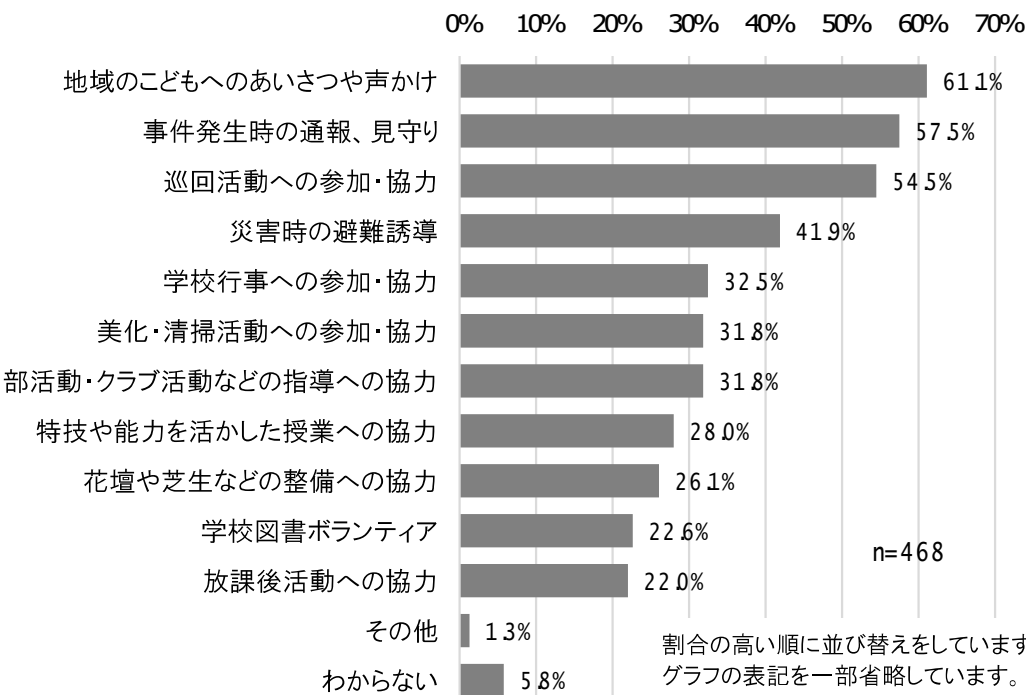
29歳以下、40代、50代では「地域の子どもへのあいさつや声かけ」が最も高く、

30代と60代では「巡回活動への参加・協力」が最も高くなっています。

父親・母親ともに「地域の子どもへのあいさつや声かけ」が最も高く、次いで「事件発生時の通報、見守り」が続いています。

「その他」の具体的な内容

常識の周知、発達障害に対する教育、PTA活動の廃止、無料ボランティアでやらせないでほしい、やっても意味ない、学校活動で発生する音などへの理解



問37 最後に区立図書館についてお伺いします。
あなたは日ごろ、区立図書館をどのくらい利用していますか。（ひとつだけ）

「年に数回程度」が26.5%と最も高く、次いで「あまり利用しない」が20.9%、「月に数回程度」が20.7%と続いています。

月に1回以上の利用が43.6%に対して、24.5%が図書館を利用していません。

	N	%
サンプル数	468	100%
ほぼ毎日	0	0.0%
週に数回程度	12	2.6%
週に1回程度	50	10.7%
月に数回程度	97	20.7%
月に1回程度	45	9.6%
年に数回程度	124	26.5%
年に1回程度	24	5.1%
あまり利用しない	98	20.9%
利用したことがない	17	3.6%
わからない、覚えていない	1	0.2%

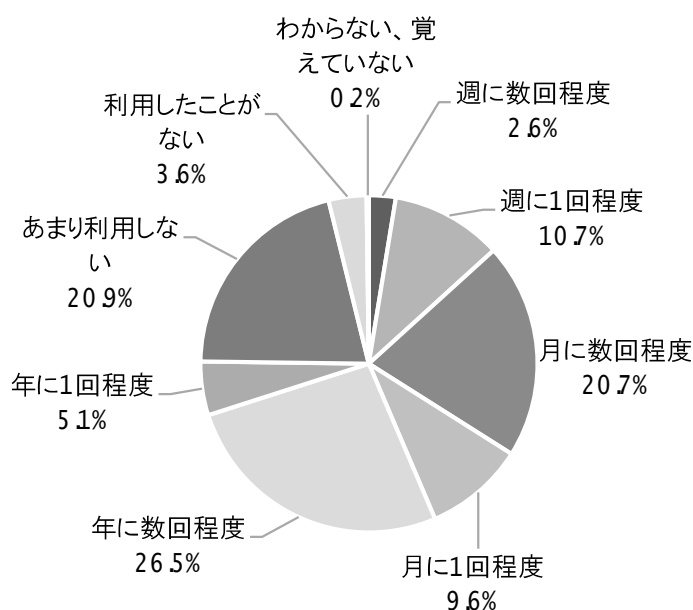
年齢別では、29歳以下は「週に1回程度」と「月に1回程度」、「あまり利用しない」が最も高く、30代～50代では「年に数回程度」が最も高くなっています。

地区別では、白河・富岡・東陽・豊洲・大島で「年に数回程度」が最も高く、小松橋では「あまり利用しない」が最も高くなっています。

亀戸は「年に数回程度」「あまり利用しない」が同率でした。

一方、小松橋・東陽・豊洲・大島・砂町では「月に数回程度」の回答が20%を超えています。

「週に数回程度」は亀戸が最も高く8.9%でした。



n=468

問38 図書館を利用する目的は何ですか。（いくつでも）

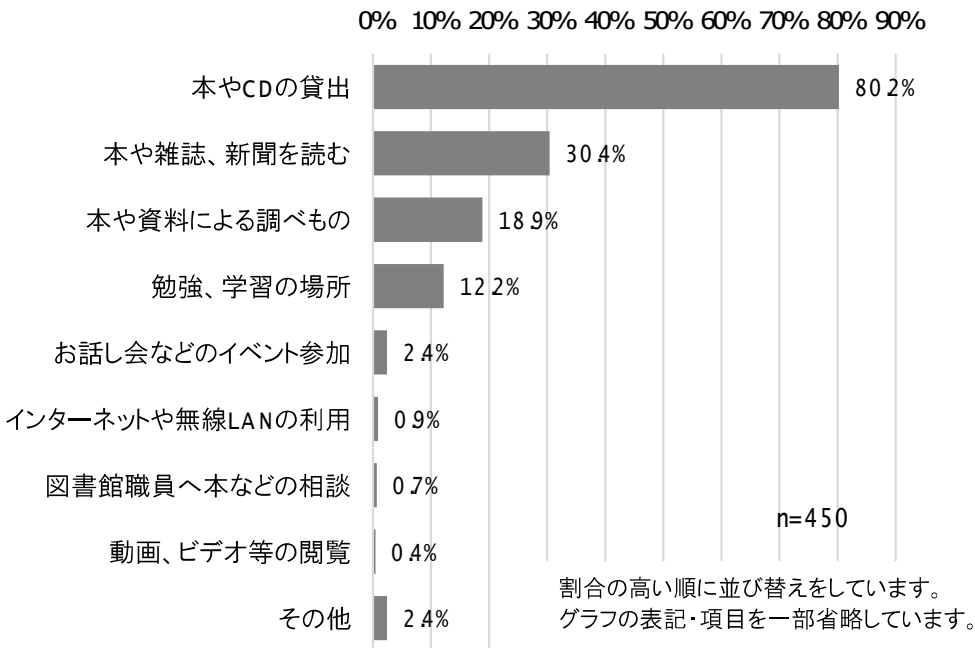
※問37で図書館を「利用したことがある」者に質問

図書館を利用したことがあると回答した450名のうち、「本やCDの貸出」が80.2%と最も高く、次いで「本や雑誌、新聞を読む」が30.4%と続いています。

父親・母親、また年齢別では「本やCDの貸出」が最も高く、次いで「本や雑誌、新聞を読む」、「本や資料による調べもの」が続いています。一方、「図書館職員へ本などの相談」や「お話し会などのイベント参加」は5%未満でした。

	N	%
サンプル数	450	100%
本やCDの貸出	361	80.2%
本や雑誌、新聞を読む	137	30.4%
本や資料による調べもの	85	18.9%
動画、ビデオ等の閲覧	2	0.4%
勉強、学習の場所	55	12.2%
インターネットや無線LANの利用	4	0.9%
図書館職員へ本などの相談	3	0.7%
お話し会などのイベント参加	11	2.4%
その他	11	2.4%

「その他」の具体的な内容
ボックス利用、気分転換、こどもの付き添い(3)、利用することがない、訪問介護の合間のトイレ使用、こどもの遊び場としてなど



問39 区立図書館で取り組んでほしいことは何ですか。（いくつでも）

「蔵書の量の充実」が47.0%と最も高く、次いで「蔵書の質の充実」が29.1%、「予約・リクエストサービスの充実」が23.3%と続いています。

	N	%
サンプル数	468	100%
蔵書の量の充実	220	47.0%
蔵書の質の充実	136	29.1%
電子図書の充実	88	18.8%
イベントや講座の充実	66	14.1%
予約・リクエストサービスの充実	109	23.3%
読書の機会づくり支援(おすすめ書籍の紹介など)	26	5.6%
ホームページの充実	27	5.8%
本や調べものに関する相談窓口の充実	30	6.4%
施設の改修・修繕	35	7.5%
キッズコーナーの充実	57	12.2%
その他	27	5.8%
特にない	85	18.2%

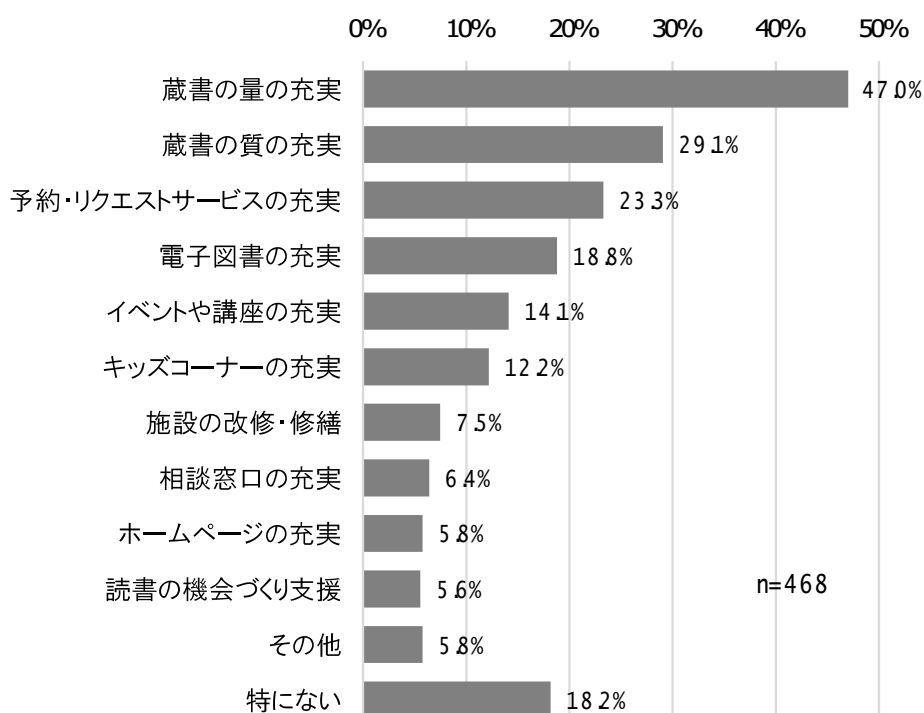
20代から50代まで「蔵書の量の充実」が最も高くなっています。

次いで、20代では「蔵書の質の充実」と「施設の改修修繕」、「キッズコーナーの充実」が、30代では「特にない」が、40～50代では「蔵書の質の充実」が続いています。

「予約・リクエストサービス」については、40代と50代が20%を超えており、また、「電子図書の充実」は40代で20%を上回っています。

「その他」の具体的な内容

返却場所を増やしてほしい、電子図書館の充実、設備（机・椅子）の拡充(7)、自習スペースの設置(8)、子どもが興味を持つ本の充実(2)、カフェコーナーの設置、ブックポストや予約貸出サービス など



割合の高い順に並び替えをしています。
グラフの表記・項目を一部省略しています。

問40 こどもの読書活動を推進するため、区立図書館において、どのような取り組みが必要であると考えますか。（いくつでも）

「中学・高校生向けの資料の充実」が44.2%と最も高く、次いで「児童図書の充実」が33.1%、「学校図書室との連携」が32.3%と続いています。

	N	%
サンプル数	468	100%
おはなし会やこども向けイベントの充実	113	24.1%
児童図書の充実	155	33.1%
館内装飾の工夫	34	7.3%
中学・高校生向けの資料の充実	207	44.2%
中学・高校生の読書への動機付けとなるイベントの実施	147	31.4%
ブックリストの作成・配布	37	7.9%
こども専用のレファレンス（調べもの支援）サービスの充実	87	18.6%
学校図書室との連携	151	32.3%
こどもの読書活動に関わっている団体やグループへの支援およびネットワークづくり	34	7.3%
子育て支援施設などへの出張、団体貸出および配本サービス	37	7.9%
その他	20	4.3%
特になし	65	13.9%

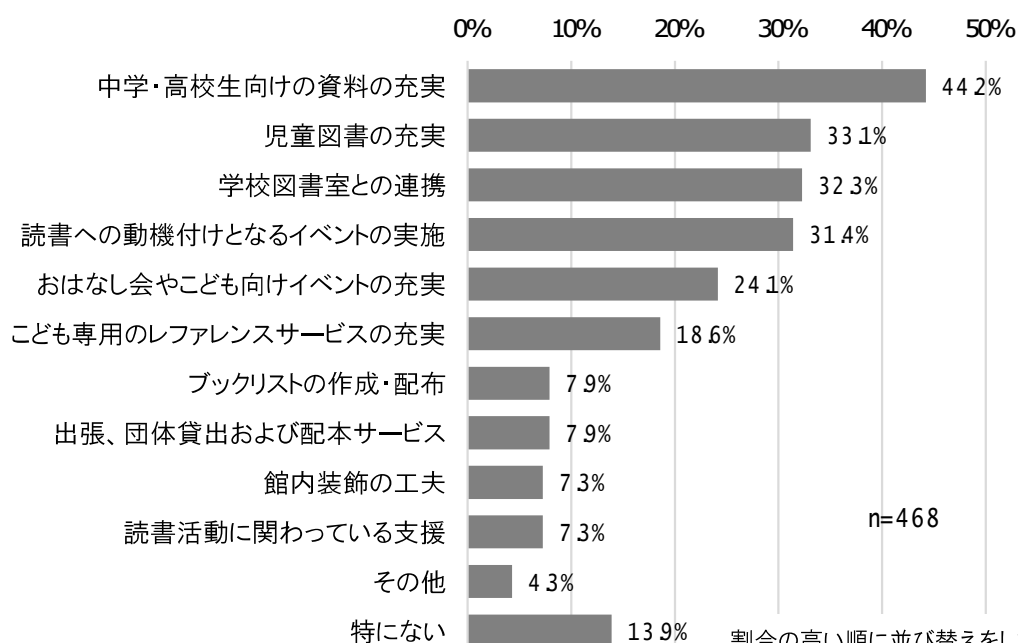
父親では「児童図書の充実」（42.1%）が最も高く、次いで「中学・高校生向けの資料の充実」（38.2%）が続いています。

母親では「中学・高校生向けの資料の充実」（45.4%）が最も高く、次いで「中学・高校生の読書への動機付けとなるイベントの実施」（32.6%）が続いています。

年齢別では、全年代で「中学・高校生向け資料の充実」が最も高く、次いで20代は「特になし」が、30代は「児童図書の充実」（同率）が、40代は「児童図書の充実」が、50代は「学校図書室との連携」が、60代は「読書への動機付けとなるイベント実施」が、70歳以上は「学校図書室との連携」と続いています。

「その他」の具体的な内容

ヨンデミーの活用、座るスペースを増やす（3）、自習室の充実（4）、こどもの読み物を増やす（3）、保護者が本に親しむ（2）、返却ポスト増設や予約確認、学校で貸し借りができるように（3）、著者のイベント開催など



割合の高い順に並び替えをしています。
グラフの表記を一部省略しています。

問41 こどもたちの教育について、ご意見があれば自由にお書きください。（自由記述）

全部で180件の意見があり、その中で「つながり」に関する意見が多く、84件ありました。

次いで、「学び・育ち」に関する意見が69件ありました。

なお、定性調査のため、意見数はあくまで参考値です。

	意見数
1. 学び・育ち	69
2. 自分らしさ	55
3. 環境	11
4. つながり	84
ICT	32

※1人で複数個の記述があったものは、複数の項目でカウントしているため、合計数は180件以上となります。

※定性調査のため、割合は算出せず。

第5部 調査結果に基づく現状と課題

1.確かな学び

(1) 児童・生徒が主体的に学習に取り組む授業改善や教育活動のさらなる充実

(江東区民…Q8、小中学生…Q11、保護者…Q25)

※結果の一部を示しています。

・学校で自ら進んで学習したいと思える授業について小中学生に質問した結果、

40% 45% 50%

「タブレット端末を活用している授業を実施する」が最も高く、49.4%でした。

49.4 %

・これからの学校の

た結果、いずれ

護者では60.9%

・結果から、基礎

ページ)」の取組

着の取組みが求

(2) 一人一台並

(小中学生…Q

・タブレット端末を

た結果、「インター

・家庭でタブレット

もの」が65.4%と

・学校の授業以外

る事柄を調べてい

教育に活かすか、

(3) 一人一台並

(江東区民…Q

・タブレット端末を

やイラストの編集」

続きました。

・タブレット端末を

した結果、いずれ

最も高く、保護者

・タブレット端末を

今後は、「KOTO」

に向けた検討が求

2.豊かな心

(1) 道徳教育や

(保護者…Q26)

・勉強以外に学校

「教員の資質・指

ひとりに対するきめ

した。

・各種研修の実施

・学校運営の効率

(2) 自己肯定感

(小中学生…Q

・小中学生に対し

も幸せ」が41.8%、「幸せ」が40.5%、「どちらでもない」が14.3%に対して、「あまり幸せではない」が2.3%、「全く幸せではない」が1.1%でした。

・「あまり幸せではない」「全く幸せではない」計3.4%の割合を低くする方策を検討する必要があります。

調整中

ます。

70%

67.3 %

6

ます。

60%

54.5 %

2.9 %

ます。

で

て

でも

幸せ

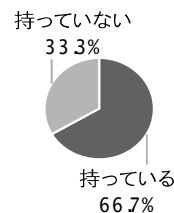
41.8%

幸せ」
40.5%

(3) SNS等によるいじめ等の新たな事象への対応（スマートフォン所持について）

（小中学生…Q20、保護者…Q15）

- ・スマートフォンを持っているかについて小中学生と保護者に質問した結果、小中学生の回答では66.7%が保有していると回答し、保護者の回答では63.5%がこどもにスマートフォンを持たせていると回答しました。およそ3人に2人がスマートフォンを所有しています。
- ・小学生では45.3%が保有しており、中学生では91.5%が保有していると回答しています。
- ・スマートフォンの利用時間などの検討



(4) SNS等による

（小中学生…Q21）

- ・SNSをやっている
- 67.9%、「時々利用
- ・小学生は46.2%
- ます。
- ・スマートフォンを
- て」が93.3%で最
- ・スマートフォン使
- ます。

(5) SNS等による

（小中学生…Q22）

- ・SNSで悪口やい
- 問した結果、87%
- が21.5%でした。
- ・「ある」について
- では、小学生が1
- ・スマートフォンに
- アプリの制限をし
- ・SNS等による見
- などを検討する必

3.健やかな体

(1) 運動に興味

（小中学生…Q23）

- ・普段どのくらいの
- んどしない」と回答
- 36.1%でした。
- ・保護者にこどもの
- 等に通っている」が
- が19.9%でした。
- ・運動をほとんどし
- 等に体を動かす活

調整中

(2) 運動に興味・関心をもち、主体的に体を動かすことが好きな態度を養う(好きな運動)

(小中学生…Q10、保護者…Q12)

- ・学校の運動で楽しかったことについて小中学生に質問した結果、64.8%が「運動会」と回答し、次いで41.8%が「プール」と回答しました。
- ・学校の運動行事で子どもが特に興味を持っていることについて保護者に質問した結果、55.8%が「運動会」と回答し、次いで34.0%が「プール」と回答しました。
- ・昨今、酷暑など、子どもが体を動かす機会の確保が課題と認識されています。

(3) 運動に興味・関心をもたせる

(小中学生…Q11)

- ・体育の授業や部活動を通じて、子どもが運動に興味・関心をもてるように指導しています。
- ・結果、「球技(団体球技)」が最も多く、次いで「球技や水泳を通じて」です。

4.個に応じた支援(1) 多様なニーズに応える

(江東区民…Q13)

- ・多様化するニーズに応えるため、様々な取り組みを行っています。
- ・に質問した結果、保護者は「個性の尊重」「個に応じた支援の充実」「いじめ対応や不登校対応」が最も多く、次いで「多様なニーズに応える」です。

5.丁寧な相談(1) 問題の複雑さ

(小中学生…Q14)

- ・学校や生活のことで悩んでいることに関する相談が最も多く、次いで「勉強に関する悩み」が25.1%、「友達関係に関する悩み」が20.0%、「いじめに関する悩み」が10.0%、「生活に関する悩み」が5.0%です。

(2) 問題の複雑さ

(保護者…Q22)

- ・子どもの友達関係に関する相談が最も多く、次いで「よく悩んでいる」「よく悩んでいる」が10.5%、「よく悩んでいる」が6.0%でした。
- ・子どもと同様に、保護者自身も悩んでいることや、子どもの生活環境の周知や相談の必要性を感じています。

調整中

(3) 問題の複雑化に対する効果的な方策の検討(相談相手)

- (小中学生…Q16、保護者…Q23)
- ・小中学生に悩みを相談する人がいるかを質問した結果、「両親」が32.4%と最も高く、次いで「友だち」が28.3%、「担任の先生」が14.3%と続きました。「相談できる人はいない」は1.4%でした。
 - ・保護者に対して、こどもに関する悩みをどのような人や機関に相談するか質問した結果、「配偶者」が75.9%と最も高く、次いで「知人・友人」、「担任教員」と続きました。
 - ・悩み相談の3割は、小児科、児童相談所、児童福祉センター等の専門家や専門機関に相談する。

(4) 相談しやすい環境づくり

- (小中学生…Q17、保護者…Q24)
- ・江東区のSNS教育相談窓口の認知度を調査した結果、80.9%が認知している。
 - ・区(教育委員会)のSNS教育相談窓口の認知度を調査した結果、83.8%が認知している。
 - ・SNS教育相談窓口の認知度を調査した結果、1%が認知していない。
 - ・SNS教育相談窓口を、包括的に進めたい。

6.施設の整備

(1) 学校施設の整備

- (江東区民…Q18)
- ・どのような学校環境が必要かを質問した結果、「友だちと過ごせる場所」が最も多く、「快適な教室空間」が次いで、「良好な教育環境」が続き、「安全な校舎」が最も少ない。
 - ・学校環境で最も重要だと答えたのは、「快適な教室空間」が最も多く、「良好な教育環境」が次いで、「安全な校舎」が最も少ない。

7.安全安心・居場所づくり

(1) こどもが利用しやすい環境づくり

- (小中学生…Q19)
- ・放課後どのような活動に参加したいかを質問した結果、いずれも「自由な活動」が最も多く、「学習活動」が次いで、「運動・スポーツ」が最も少ない。
 - ・放課後は自宅で過ごすという回答が最も多く、放課後の居場所づくりを重点的に進めたいという回答が最も少ない。

調整中

8.地域・家庭

(1) 学校、地域、家庭及び関係機関の連携・協働(地域行事への参加)

(江東区民…Q18、小中学生…Q28、保護者…Q34)

- ・小中学生に地域の行事にどの程度参加しているかを質問した結果、「学校や町会のお知らせを見て、興味があれば参加している」が最も高く、52.6%でした。
- ・地域で行っている活動に参加したことがあるかを、保護者と区民に質問した結果、いずれも「地域イベントやお祭りなどの参加・協力」が最も高く、次いで「子どもたちの通学区域の安全を守る巡回活動への参加・協力」が続きました。
- ・地域行事に参加
- のお知らせの継続

(2) 学校、地域

(江東区民…Q19)

- ・地域と学校の連
- の地域と学校はう
- も地域と学校の連
- ・地域と学校の連

(3) 学校、地域

(江東区民…Q20)

- ・地域の中の学校
- した結果、いずれ
- 発生時の通報、身
- ・保護者や地域の

(4) 家庭教育

(小中学生…Q21)

- ・習い事や部活動
- 動をしている」と回
- ど)」が続きました
- ・運動系の活動を
- 動ができるように

(5) 教育委員会

(江東区民…Q22)

- ・教育委員会の取
- いずれも「こうとう
- 報誌「こうとうの教
- ・引き続き、区報を

調整中

います。
9%40%
33.0%
30.9%
います。
60%
56.5%
52.6%
8%

ます。
90%
8.2%

(6) 教職員の働き方改革

(江東区民…Q16、保護者…Q32)

・教員の働き方改革で必要な取り組みについて保護者と区民に質問した結果、いずれも「人的支援や効率化などによる事務負担の軽減」(保護者は76.5%、区民は71.5%)が最も高く、次いで保護者は「出退勤時刻の客観的な把握により適正な時間管理の実施」が、区民は「自宅等への持ち帰り作業の禁止」が続きました。

・事務負担の軽減を重点的に、適正な時間管理などの実現に向け検討をする必要があります。

(7) 教職員の働き方改革

(小中学生…Q27)

・Challenging Work

果、いずれも「自宅等への持ち帰り作業の禁止」

く、次いで「友達と遊ぶ時間」

・自主学習やクラブ活動の両立を目指

9. 学校・教員

(1) 教員の指導力

(小中学生…Q8)

・学校の授業はわかる

36.8%、「まあわかる

らないことが多い」

は4.3%でした。ま

6.0%でした。

・「わかる」の合計

割合を低くする必

(2) 教員の指導力

(小中学生…Q9)

・先生(教員)は構

くれる」が40.7%と

一方、「あまり聞い

合計4.6%が「聞い

・教員の指導力向

必要があります。

(3) 教員の指導力

(江東区民…Q10)

・どのような先生が

れる」が最も高く、

・教職員に求める

を評価する」が最

いる」が、区民は「

ました。

・公平に接する・言

力を身に付けるこ

調整中

(4) 全ての児童・生徒が明るくのびのび通うことができる教育環境の実現(学校の楽しさ)

(小中学生…Q5、保護者…Q8)

・学校は楽しいかを小中学生に質問した結果、「いつも楽しい」31.5%、「楽しいと感じる日が多い」35.4%「楽しい日も楽しくない日もある」27.1%、「あまり楽しい日がない」4.1%、「楽しいと思った日はほとんどない」1.8%でした。

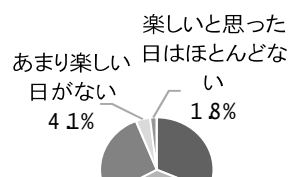
・保護者に対して、こどもが楽しく学校に通っているかを質問した結果、「とても楽しく通っている」28.0%、「まあ楽しく通っている」55.8%に対して、「あまり楽しそうに通っていない」3.4%、「楽しそうに通っていない」4.7%と、楽しそうに通

ていないの合計は

・「あまり楽しい日

ていくための施策

※結果の一部を示しています。

(5) 全ての児童

(小中学生…Q6)

・学校が楽しいと

「仲の良い友達か

53.5%と続きまし

・楽しそうに通っ

「仲の良い友達か

しい」が40.3%と

・友人関係の割合

必要です。

(6) 全ての児童

(小中学生…Q7)

・学校が楽しくない

果、「勉強が楽し

ない」が続きまし

・学校に楽しそう

由を質問した結果

環境が好きではな

・勉強が楽しくない

く授業など、教職

(7) 全ての児童

(小中学生…Q9)

・学校はどのような

広げる」(72.8%)が

した。

・対面ならではの

の実現を検討す

10.教育施策(1) こどもたち

(小中学生…Q10)

・将来どのような人

を持っている人」が

・将来どのような人

いやる心を持っている人」が最も高く、次いで「困難を乗り越えられる人」が続き

ました。

・人を思いやる心を持った大人になるような、教育政策を進める必要があります。

調整中

(2) こどもたちが希望を持てるまちづくり(こどもに身に付けてほしい能力)

(江東区民…Q7、保護者…Q20)

- ・将来に向けてこどもに身に付けてほしいと思っていることを保護者に質問した結果、「社会性(協調性や思いやり)を身に付ける」が最も高く、次いで「コミュニケーション能力をつける」が続きました。
- ・これからのこどもに必要なと思うことを区民に質問した結果、「社会性(協調性や思いやり)を身に付ける」が最も高く、次いで「規範意識(ルールやマナーなど)を習得させる」が続きました。
- ・社会性を基盤に
- 得できるようにす

(3) こどもたち

(江東区民…Q

- ・江東区の教育
- ても充実している
- 保護者が49.1%
- は保護者が5.3%
- 2.1%、区民が1
- ・保護者の半数
- ことから、教育環

(4) こどもたち

(江東区民…Q

- ・江東区が掲げ
- した結果、いずれ
- 高く、次いで「人
- 成」が続きました
- ・理念を軸に教育

11.図書館・大

(1) 児童・生徒

(江東区民…Q

- ・区立図書館の利
- 結果、小中学生で
- に数回程度」が24
- 「利用したことがな
- ・保護者では、「年
- ない」が20.5%、「
- ない」は3.6%でし
- ・区民では、「あま
- 度」が19.6%、「希
- ・図書館の利用率
- 成などを進める必

調整中

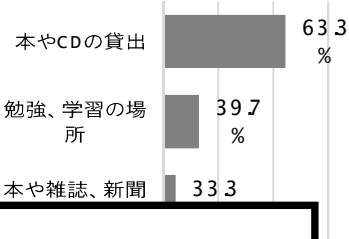
(2) 児童・生徒の図書館利用状況の検証(区立図書館の利用目的)

(江東区民…Q22、小中学生…Q32、保護者…Q38)

・区立図書館の利用目的について、図書館を年に1回以上利用している小中学生・保護者・区民に質問した結果、小学生・保護者・区民ともに「本やCDの貸出」が最も高く、次いで小学生は「勉強、学習の場所」(39.7%)として、保護者と区民は「本や雑誌、新聞を読む」が続きました。

・勉強や学習場所としての利用が40%ほどあるため、自習環境の整備が必要です。

※結果の一部を示しています。
30% 45% 60% 75%



(3) 図書館における

(江東区民…Q22)

・区立図書館で取
をした結果、いず
やしてほしい」が、
子図書の充実」に
15.7%でした。

・蔵書量の充実等
館への来館を促す

(4) 図書館にお

(江東区民…Q22)

・こどもの読書活動
要かを、保護者と
料の充実」が最も
続きました。

・区民では、「おは
図書の充実」、「中
・年代に合わせた
必要があります。

調整中